

### 3. 投資信託保有状況(全体・現在保有者)

#### (1) 投資信託の保有状況(全体)

投資信託の保有状況を見ると、「現在持っている」は9.6%である。「以前持っていたが、現在は持っていない」は6.1%で、「今まで持ったことがない」が77.3%と大半を占める。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では保有状況に大きな差はみられない。

年代別では、「現在持っている」「以前持っていたが、現在は持っていない」はともに年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、70歳以上では「現在持っている」率が20%近い。一方、20代では「言葉も知らなかった」が22.8%と高い。

年収別でみると、「現在持っている」率は「～800万円未満」の層が最も高い山型となっている。一方、「以前持っていたが、現在は持っていない」率は「～800万円未満」の層では1.7%と低いが、それ以外の“100万円以上”の層では7～8%台で並んでいる。

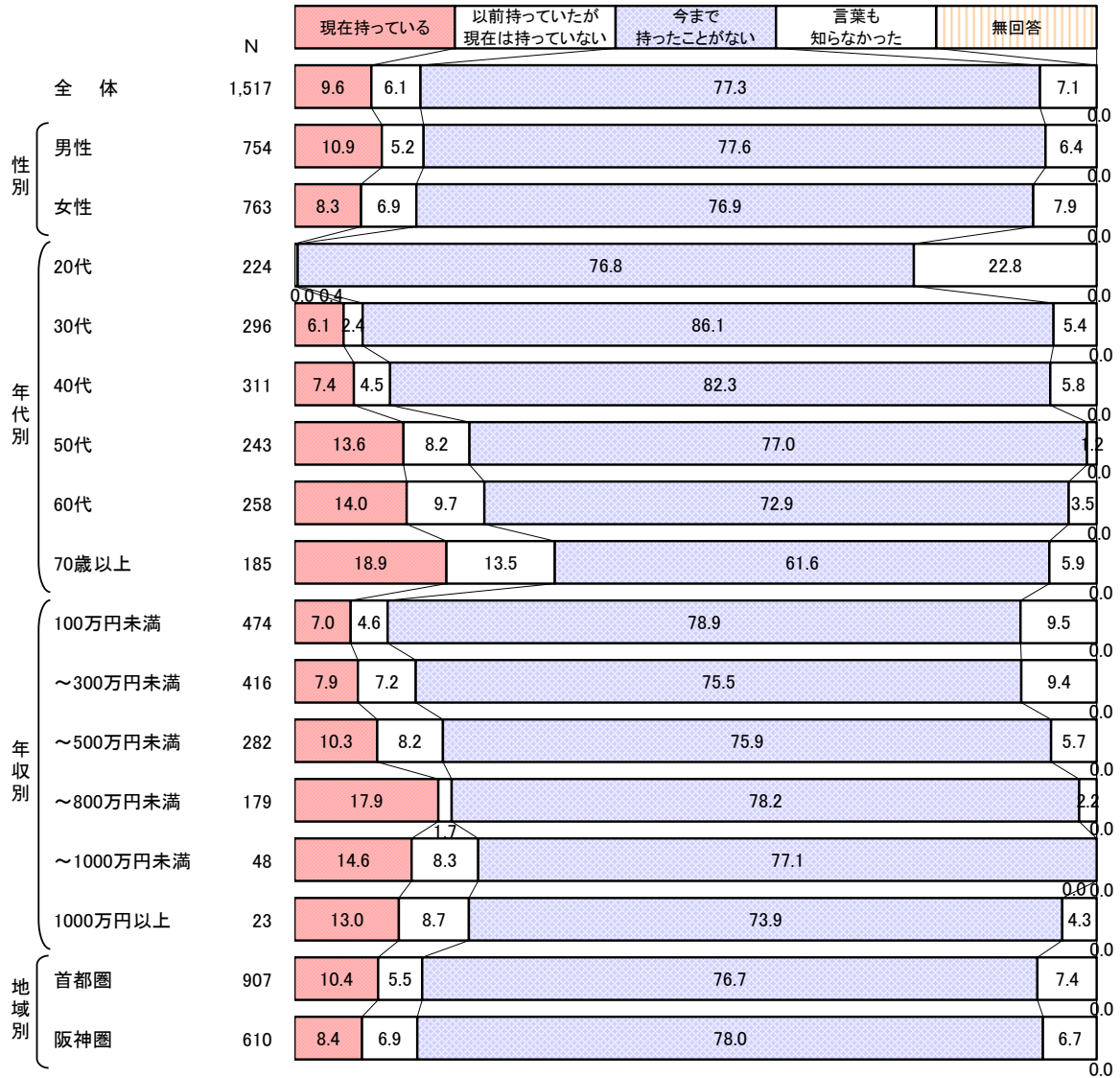
地域別では大きな差はみられない。

問2【投資信託の保有状況(単数回答)／時系列－全体ベース】

	N	現在持っている	以前持っていたが 現在は持っていない	今まで 持ったことがない	言葉も 知らなかった	無回答
平成26年	1,517	9.6	6.1	77.3		7.1
平成25年	1,515	8.3	8.3	76.8		6.7
平成23年	1,509	9.4	6.6	76.5		7.4
平成22年	1,514	9.8	7.0	75.6		7.5
平成20年	1,507	11.1	4.2	78.4		6.2

## 問2【投資信託の保有状況(単数回答)／対象者属性別ー全体ベース】

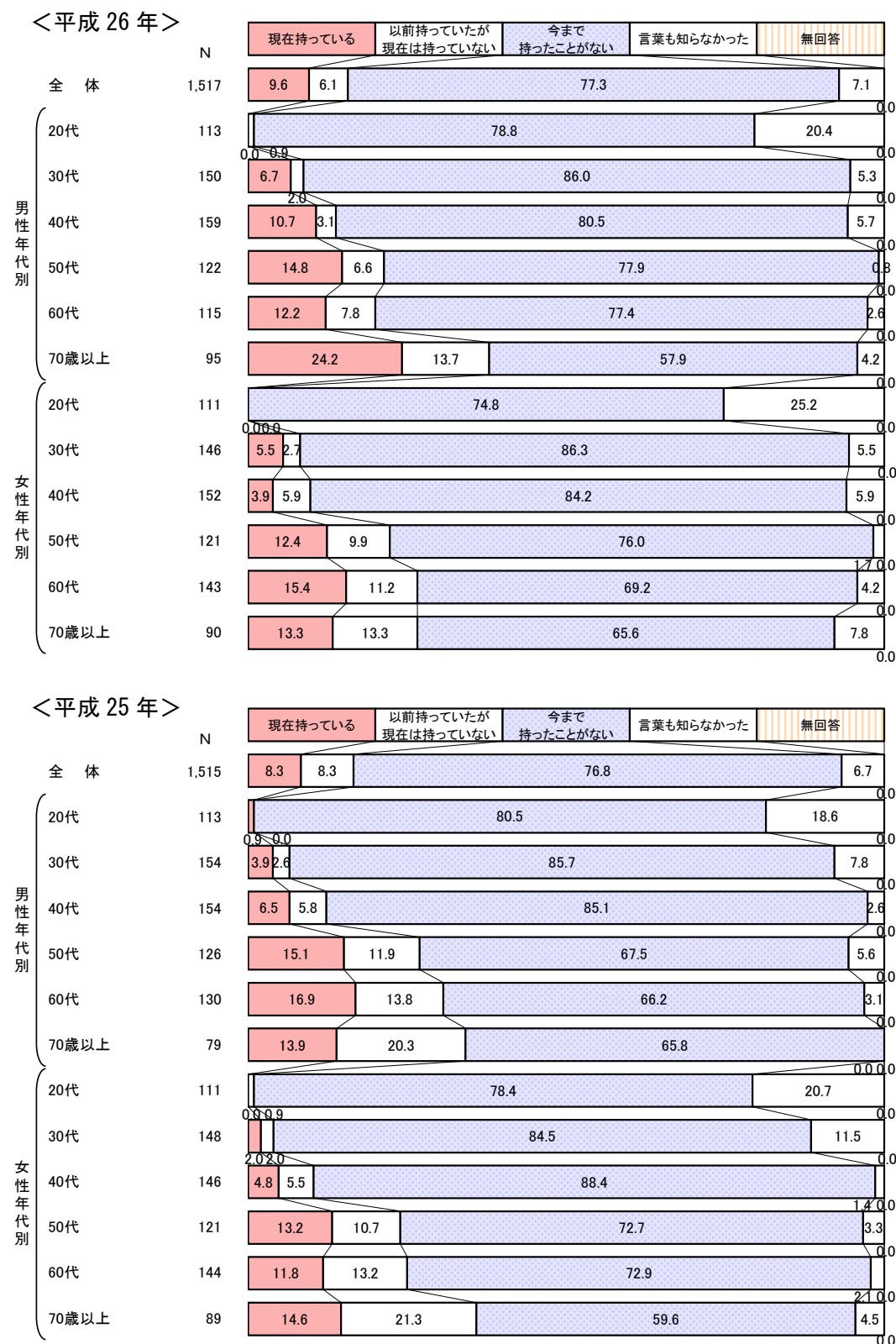
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



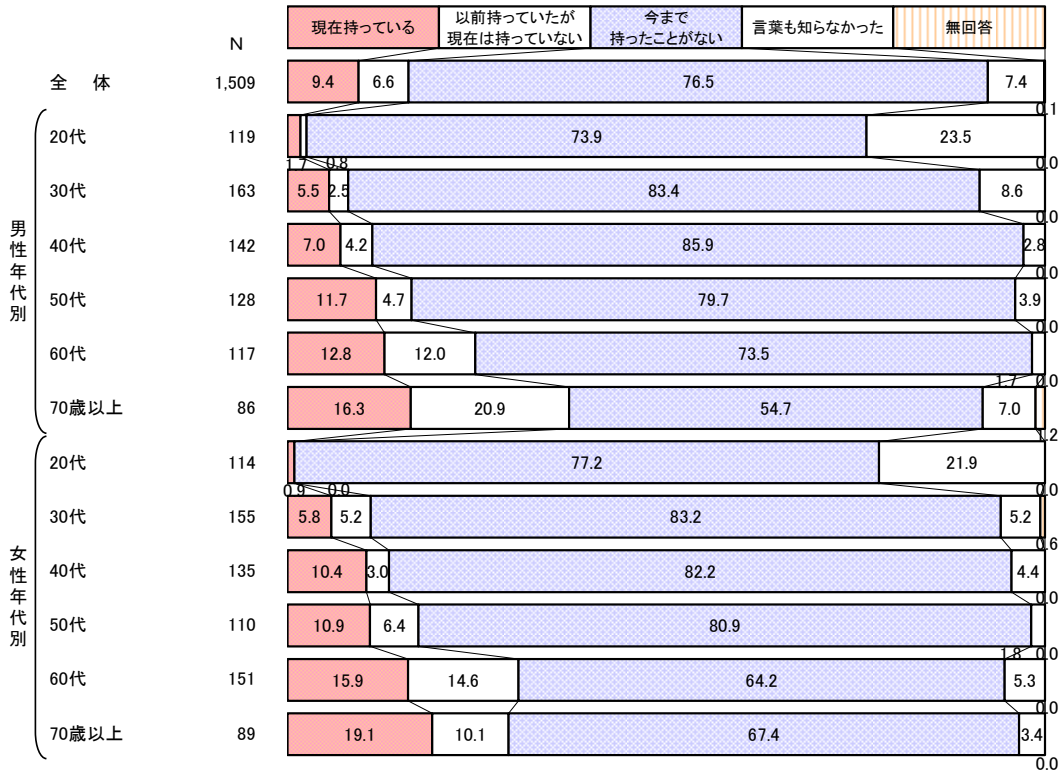
さらに、性別×年代別にみると、「現在持っている」「以前持っていたが、現在は持っていない」とともに、男女とも年代が上がるにつれ、高くなる傾向がみられる。ただし、「現在持っている」率は男性では40～60代、女性では50代以上で同程度となっている。

各年代別に時系列でみると、男性70歳以上では「現在持っている」率が前回より高くなり、24.2%となったが、その分「以前持っていたが、現在は持っていない」率が低くなり、保有経験率に大きな変化はみられない。女性70歳以上では「以前持っていたが、現在は持っていない」率が前回より低くなった。

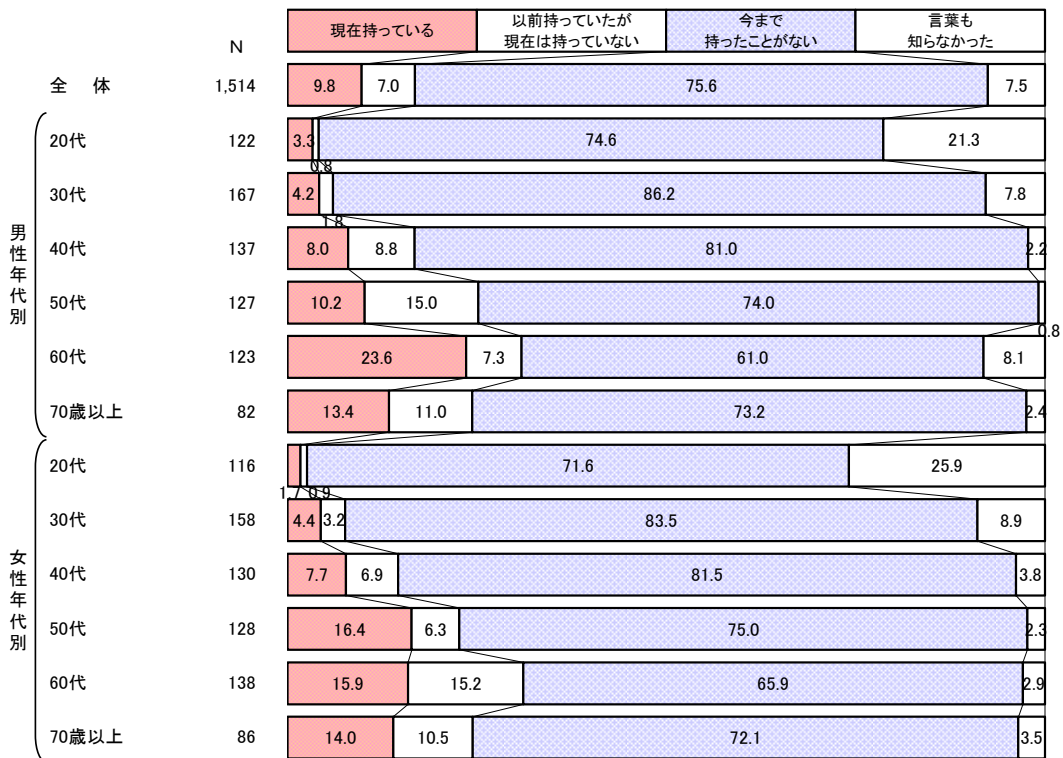
## 問2【投資信託の保有状況(単数回答)／性別×年代別】



<平成 23 年>



<平成 22 年>



## (2) 投資信託保有者の特徴(現在保有層)

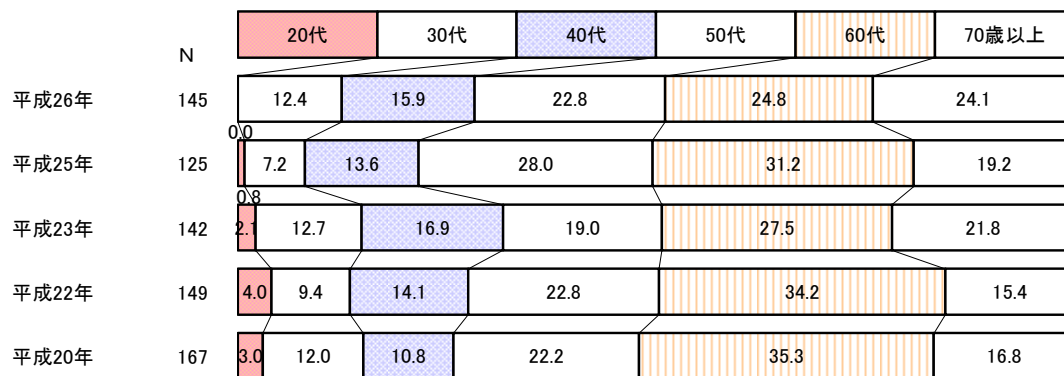
次に、現在投資信託を保有している人(現在保有層)の特徴をみると、年齢別構成比は「60代」と「70歳以上」がともに24%台となっており、「50代」も22.8%と高い。『60代以上』は、調査対象者全体でみると29.2%(121ページ【対象者年齢/時系列】グラフ参照)であるが、現在保有層では48.9%と半数を占め、高年齢層寄りとなっている。

時系列でみると、「70歳以上」の割合(24.1%)は前回より4.9ポイント増加したが、「60代」(24.8%)は6.4ポイント減少、「50代」の比率(22.8%)も前回より5.2ポイント減少した。『40代以下』の比率(28.3%)も前回(21.6%)より6.7ポイント増加し、いずれも平成23年とほぼ同じ構成比に戻っている。

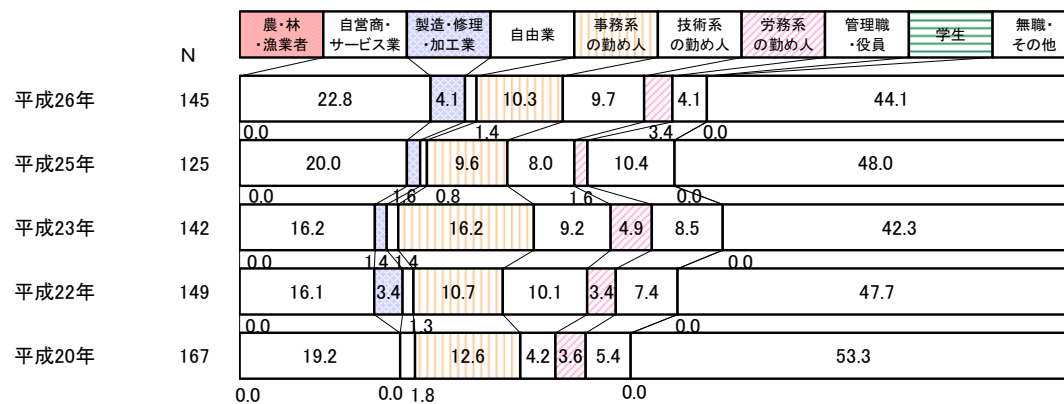
職業別構成比では、「無職・その他」が44.1%とほぼ半数を占める。次いで「自営商・サービス業」が22.8%で多く、「事務系の勤め人」(10.3%)と「技術系の勤め人」(9.7%)がほぼ同程度で並ぶ。

時系列でみると、「自営商・サービス業」は平成23年以降、増加傾向がみられる。「管理職・役員」(4.1%)は前回まで微増傾向がみられたが、今回は前回より6.3ポイント減少した。

【投資信託現在保有層の年齢別構成比(単数回答)/時系列】



【投資信託現在保有層の職業別構成比(単数回答)/時系列】



### (3) 投資信託の保有種類(現在保有層)

現在保有層における投資信託保有種類としては、「株式投資信託」が64.1%で最も高い。「外国で作られた投資信託」(37.2%)と「公社債投資信託」(31.0%)は同程度であり、「不動産投信」も22.8%みられる。

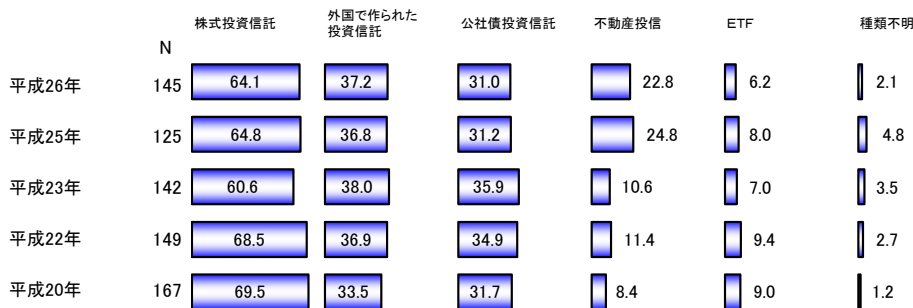
時系列でみると、「不動産投信」が平成25年にそれ以前の水準から倍増し、今回は平成25年と同程度を維持している。

投資信託保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.61種類であり、これも前回(1.66)とほぼ同程度を維持している。

性別でみると、男性は「株式投資信託」の保有率が女性より高く、女性は「外国で作られた投資信託」の保有率が男性より高い。

なお、参考までに、投資信託の種類別保有率を調査対象全体ベースに換算すると、「株式投資信託」は6.1%となる。時系列でみても大きな変化はみられない。

#### 問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／時系列－現在保有層ベース】



#### 問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／対象者属性別－現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

		(上段:N)(下段:%)						
		全体	公社債投資信託	株式投資信託	ETF	不動産投信	外国で作られた投資信託	平均保有種類数
全体		145	45	93	9	33	54	3
		100.0	31.0	64.1	6.2	22.8	37.2	2.1
性別	男性	82	26	57	6	16	27	2
		100.0	31.7	69.5	7.3	19.5	32.9	2.4
性別	女性	63	19	36	3	17	27	1
		100.0	30.2	57.1	4.8	27.0	42.9	1.6
年別	20代	0	-	-	-	-	-	-
		0.0	-	-	-	-	-	-
	30代	18	5	11	1	2	5	1
		100.0	27.8	61.1	5.6	11.1	27.8	5.6
	40代	23	6	15	3	4	7	2
		100.0	26.1	65.2	13.0	17.4	30.4	8.7
	50代	33	7	19	3	9	21	-
		100.0	21.2	57.6	9.1	27.3	63.6	-
年別	60代	36	15	26	1	8	13	-
		100.0	41.7	72.2	2.8	22.2	36.1	-
	70歳以上	35	12	22	1	10	8	-
		100.0	34.3	62.9	2.9	28.6	22.9	-
	100万円未満	33	9	22	-	9	15	-
	100.0	27.3	66.7	-	27.3	45.5	-	
年別	~300万円未満	33	7	21	3	6	9	1
		100.0	21.2	63.6	9.1	18.2	27.3	3.0
	~500万円未満	29	11	16	1	8	7	-
		100.0	37.9	55.2	3.4	27.6	24.1	-
	~800万円未満	32	10	20	3	7	12	1
		100.0	31.3	62.5	9.4	21.9	37.5	3.1
	~1000万円未満	7	3	5	2	-	2	1
	100.0	42.9	71.4	28.6	-	28.6	14.3	
年別	1000万円以上	3	1	2	-	1	3	-
		100.0	33.3	66.7	-	33.3	100.0	-

#### 問3①【投資信託の種類別保有率(重複回答)／時系列－全体ベース】

	(%)						
	全体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	不動産投信	ETF	種類不明
平成26年	1,517	6.1	3.6	3.0	2.2	0.6	0.4
平成25年	1,515	5.3	3.0	2.6	2.0	0.7	0.4
平成23年	1,509	5.7	3.6	3.4	1.0	0.7	0.3
平成22年	1,514	6.7	3.6	3.4	1.1	0.9	0.3
平成20年	1,507	7.7	3.7	3.5	0.9	1.0	0.1

#### 【参考－現在保有層ベース】

	(平均保有種類数)	
	全体	平均保有種類数
平成26年	145	1.61
平成25年	125	1.66
平成23年	142	1.52
平成22年	149	1.61
平成20年	167	1.54

#### (4) 投資信託の購入額(現在保有層)

現在保有層における投資信託の保有種類別購入額をみると、「株式投資信託」と「不動産投資信託」はともに「100万円未満」と「～300万円未満」が同程度で並び、「外国で作られた投資信託」と「公社債投資信託」は「100万円未満」が「～300万円未満」をやや上回る。いずれも“300万円未満”の保有者が60～70%を占め、少額しか購入していない人が大半を占める。

平均購入額をみると、「公社債投資信託」(353.7万円)が特に高く、「株式投資信託」(274.7万円)、「不動産投信」(272.6万円)、「外国で作られた投資信託」(252.0万円)はほぼ同額で並んでいる。

種類別平均購入額を時系列でみると、「株式投資信託」は、平成25年は平成23年より約130万円増加したが、今回は約100万円減少した。「外国で作られた投資信託」と「不動産投信」はともに約60万円減少している。一方、「公社債投資信託」は前回より約100万円増加した。

なお、1人あたりの合計購入額の平均は420.7万円である。これも前は前回より約80万円増加したが、今回は前回より約50万円減少した。

#### 問3②【投資信託の保有種類別購入額—現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円 未満	～300万円 未満	～500万円 未満	～800万円 未満	～1000万円 未満	1000万円 以上	投資額 不明
株式投資信託	93 100.0	35 37.6	35 37.6	8 8.6	4 4.3	1 1.1	6 6.5	4 4.3
外国で作られた投資信託	54 100.0	22 40.7	16 29.6	4 7.4	7 13.0	1 1.9	1 1.9	3 5.6
公社債投資信託	45 100.0	17 37.8	11 24.4	5 11.1	3 6.7	-	5 11.1	4 8.9
不動産投信	33 100.0	12 36.4	11 33.3	5 15.2	1 3.0	-	2 6.1	2 6.1
ETF	9 100.0	4 44.4	3 33.3	1 11.1	1 11.1	-	-	-
合計購入額	145 100.0	33 22.8	41 28.3	12 8.3	17 11.7	3 2.1	15 10.3	24 16.6

時系列 種類別平均購入額(万円)

(上段:万円)(下段:人)

	H26年	H25年	H23年	H22年	H20年
株式投資信託	274.7 93	372.5 81	241.8 86	307.9 102	345.2 116
外国で作られた投資信託	252.0 54	309.8 46	310.4 54	275.9 55	248.2 56
公社債投資信託	353.7 45	256.4 39	241.2 51	253.9 52	249.0 53
不動産投信	272.6 33	333.3 31	133.3 15	400.0 17	328.6 14
ETF	205.6 9	180.0 10	115.0 10	167.9 14	396.4 15
合計購入額	420.7 145	473.4 125	390.2 142	410.1 149	412.9 167

(5) 株式投資信託の保有種類と購入額(現在保有層のうち株式投資信託保有者)

現在保有層のうち、株式投資信託保有者が保有している株式投資信託の種類は「国内株式に主に投資する株式投信」(55.9%)が最も高く、次いで「外国債券に主に投資する株式投信」(31.2%)、「外国株式に主に投資する株式投信」「様々な資産に投資する株式投信」(ともに24.7%)、「不動産投信に主に投資する株式投信」(12.9%)の順に続く。

時系列でみると、「外国債券に主に投資する株式投信」保有率は段階的に下降傾向がみられ、平成20～22年に比べると10ポイント以上低くなった。「不動産投信に主に投資する株式投信」は前回倍増したが、今回半減して、前々回以前のレベルに戻った。

株式投資信託の保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.59種類であり、時系列でみても大きな変化はみられない。

また、対象者属性別では、保有率に大きな性差はなく、平均保有数も同レベルである。年代別と年収別はサンプル数が少ない層が多いため、コメントを割愛する。

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／時系列

－現在保有層のうち株式投資信託保有者ベース

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に 主に投資する 株式投信	外国債券に 主に投資する 株式投信	外国株式に 主に投資する 株式投信	様々な資産に 投資する 株式投信	不動産投信に 主に投資する 株式投信	よく わからない	その他	投資先不明	平均保有 種類数
平成26年	93 100.0	52 55.9	29 31.2	23 24.7	23 24.7	12 12.9	8 8.6	1 1.1	1 1.1	1.59
平成25年	81 100.0	43 53.1	31 38.3	21 25.9	16 19.8	20 24.7	6 7.4	1 1.2	-	1.70
平成23年	86 100.0	53 61.6	31 36.0	21 24.4	17 19.8	11 12.8	4 4.7	1 1.2	-	1.60
平成22年	102 100.0	51 50.0	46 45.1	25 24.5	28 27.5	15 14.7	-	8 7.8	1 1.0	1.70
平成20年	116 100.0	48 41.4	52 44.8	30 25.9	37 31.9	11 9.5	-	5 4.3	1 0.9	1.59

※ 平成23年より「よくわからない」を追加。

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層のうち株式投資信託保有者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に 主に投資する 株式投信	外国債券に 主に投資する 株式投信	外国株式に 主に投資する 株式投信	様々な資産に 投資する 株式投信	不動産投信に 主に投資する 株式投信	よく わからない	その他	投資先不明	平均保有 種類数	
全 体	93 100.0	52 55.9	29 31.2	23 24.7	23 24.7	12 12.9	8 8.6	1 1.1	1 1.1	1.59	
性別	男 性	57 100.0	33 57.9	19 33.3	13 22.8	13 22.8	8 14.0	4 7.0	-	1.58	
	女 性	36 100.0	19 52.8	10 27.8	10 27.8	10 27.8	4 11.1	4 11.1	1 2.8	1.61	
年代別	20代	0 0.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	30代	11 100.0	7 63.6	1 9.1	2 18.2	3 27.3	-	2 18.2	-	1.36	
	40代	15 100.0	9 60.0	6 40.0	3 20.0	3 20.0	1 6.7	-	-	1.47	
	50代	19 100.0	13 68.4	5 26.3	5 26.3	4 21.1	3 15.8	3 15.8	-	5.3 1.74	
	60代	26 100.0	14 53.8	7 26.9	8 30.8	7 26.9	2 7.7	2 7.7	1 3.8	-	1.58
	70歳以上	22 100.0	9 40.9	10 45.5	5 22.7	6 27.3	6 27.3	1 4.5	-	-	1.68
	年収別	100万円未満	22 100.0	9 40.9	4 18.2	8 36.4	6 27.3	3 13.6	4 18.2	-	1 4.5
～300万円未満		21 100.0	10 47.6	11 52.4	4 19.0	7 33.3	4 19.0	-	1 4.8	-	1.76
～500万円未満		16 100.0	9 56.3	4 25.0	5 31.3	5 31.3	3 18.8	3 18.8	-	-	1.81
～800万円未満		20 100.0	13 65.0	5 25.0	4 20.0	5 25.0	1 5.0	-	-	-	1.40
～1000万円未満		5 100.0	4 80.0	2 40.0	-	-	-	-	-	-	1.20
1000万円以上		2 100.0	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	1.50



問4②【株式投資信託の保有種類別購入額－現在保有層のうち株式投資信託保有者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円 未満	～300万円 未満	～500万円 未満	～800万円 未満	～1000万円 未満	1000万円 以上	投資額 不明	平均投資額 (万円)
国内株式に主に 投資する株式投信	52 100.0	24 46.2	18 34.6	3 5.8	3 5.8	2 3.8	-	2 3.8	195.0
外国債券に主に 投資する株式投信	29 100.0	8 27.6	10 34.5	5 17.2	1 3.4	1 3.4	2 6.9	2 6.9	331.5
外国株式に主に 投資する株式投信	23 100.0	11 47.8	9 39.1	1 4.3	-	-	-	2 8.7	131.0
様々な資産に 投資する株式投信	23 100.0	8 34.8	9 39.1	-	1 4.3	2 8.7	3 13.0	-	397.8
不動産投信に主に 投資する株式投信	12 100.0	5 41.7	3 25.0	2 16.7	-	1 8.3	1 8.3	-	337.5
よくわからない	8 100.0	4 50.0	3 37.5	-	-	-	-	1 12.5	114.3
その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	50.0

(6) 投資信託の積立投資の利用(現在保有層)

投資信託の積立投資を利用している(「はい」の比率)は17.2%であり、利用していない(「いいえ」の比率77.9%)が圧倒的に多い。

時系列でみると、大きな変化はみられない。

対象者属性別では、性別でみると、利用率には差がみられない。

年代別と年収別はサンプル数が少ない層が多いため、コメントを割愛する。

地域別、投資信託保有種類別ともに、利用率に大きな差はみられない。

問5【投資信託の積立投資の利用(単数回答)／時系列－現在保有層ベース】

	N	はい	いいえ	無回答
平成26年	145	17.2	77.9	4.8
平成25年	125	15.2	80.0	4.8

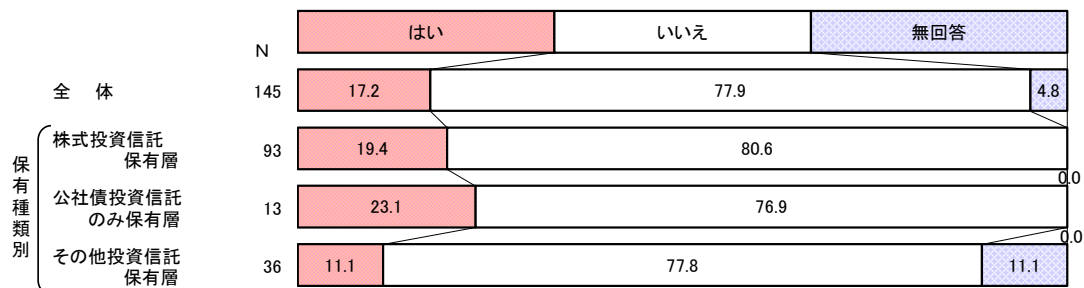
問5【投資信託の積立投資の利用(単数回答)／対象者属性別－現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	はい	いいえ	無回答
全体	145	17.2	77.9	4.8
性別	男性	15.9	79.3	4.9
	女性	19.0	76.2	4.8
年代別	20代	0		
	30代	11.1	83.3	5.6
	40代	21.7	69.6	8.7
	50代	18.2	78.8	3.0
	60代	22.2	75.0	2.8
	70歳以上	11.4	82.9	5.7
	年収別	100万円未満	18.2	75.8
～300万円未満		12.1	84.8	3.0
～500万円未満		13.8	82.8	3.4
～800万円未満		28.1	68.8	3.1
～1000万円未満		14.3	71.4	14.3
1000万円以上		3	66.7	33.3
地域別	首都圏	14.9	79.8	5.3
	阪神圏	21.6	74.5	3.9

問5【投資信託の積立投資の利用(単数回答)／保有種類別—現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(7) 投資信託の積立投資の形態(積立投資利用者)

投資信託の積立投資の形態としては、N数(サンプル数)が少ないため参考値ではあるが、「確定拠出年金」が20%台、「財形貯蓄」が10%台、「証券会社や銀行、投資信託会社の積立投資」が60%台となっている。

時系列比較、対象者属性別・投資信託保有種類別ともに、サンプル数が少ないためコメントを割愛する。

問5-1【投資信託の積立投資の形態(重複回答)】/時系列

ー現在保有層のうち積立投資利用者ベース

(上段:N)(下段:%)

	全 体	確定拠出年金	財形貯蓄	証券会社等の積立投資	わからない	無回答
平成26年	25 100.0	6 24.0	3 12.0	16 64.0	1 4.0	1 4.0
平成25年	19 100.0	5 26.3	4 21.1	10 52.6	1 5.3	- -

問5-1【投資信託の積立投資の形態(重複回答)】/対象者属性別

ー現在保有層のうち積立投資利用者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

		全 体	確定拠出年金	財形貯蓄	証券会社等の積立投資	わからない	無回答
全 体		25 100.0	6 24.0	3 12.0	16 64.0	1 4.0	1 4.0
性別	男 性	13 100.0	5 38.5	1 7.7	7 53.8	1 7.7	- -
	女 性	12 100.0	1 8.3	2 16.7	9 75.0	- -	1 8.3
年代別	20代	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	30代	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -
	40代	5 100.0	4 80.0	- -	2 40.0	- -	- -
	50代	6 100.0	- -	- -	5 83.3	1 16.7	- -
	60代	8 100.0	- -	1 12.5	7 87.5	- -	1 12.5
	70歳以上	4 100.0	- -	2 50.0	2 50.0	- -	- -
	100万円未満	6 100.0	- -	- -	5 83.3	- -	1 16.7
～300万円未満	4 100.0	- -	2 50.0	2 50.0	- -	- -	
～500万円未満	4 100.0	1 25.0	- -	3 75.0	1 25.0	- -	
～800万円未満	9 100.0	4 44.4	- -	5 55.6	- -	- -	
～1000万円未満	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	
1000万円以上	- -	- -	- -	- -	- -	- -	
地域別	首都圏	14 100.0	5 35.7	- -	9 64.3	- -	1 7.1
	阪神圏	11 100.0	1 9.1	3 27.3	7 63.6	1 9.1	- -

問5-1【投資信託の積立投資の形態(重複回答)／保有種類別

－現在保有層のうち積立投資利用者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

		全 体	確定拠出年金	財形貯蓄	証券会社等の 積立投資	わからない	無回答
全 体		25 100.0	6 24.0	3 12.0	16 64.0	1 4.0	1 4.0
保有 種類 別	株式投資信託 保有層	18 100.0	5 27.8	2 11.1	12 66.7	-	-
	公社債投資信託 のみ保有層	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3
	その他投資信託 保有層	4 100.0	-	1 25.0	4 100.0	-	-

## 4. 投資信託購入状況(現在保有層・保有経験層)

### (1) 投資信託購入のきっかけ

投資信託を購入したきっかけは、「証券会社や銀行等の person から勧められて」を半数以上の人があげており(58.6%)、他を大きく上回っている。次いで、「家族・友人から良いという話を聞いて」(21.5%)が高い。これら以外は10%に満たない。

時系列でみると、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」が前回に比べ5.6ポイント低くなった。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「証券会社や銀行等の person から勧められて」と「家族・友人から良いという話を聞いて」が女性に比べ低い、「景気や市場(相場)の状況を見て」「講演会やセミナーで良いという話を聞いて」が高く、男性の方が能動的に情報収集している様子が見える。

年代別では、「証券会社や銀行等の person から勧められて」は40代では低い、50代以上では高い。「インターネットで良さそうだったのでは」は年代が上がるにつれ、低くなる傾向が見られる。

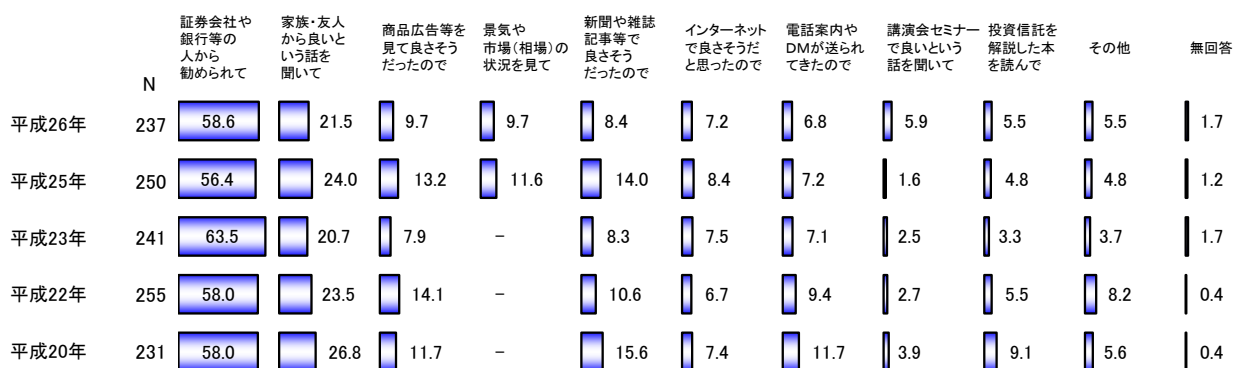
年収別では、「500万円未満」の各層に比べ「~800万円未満」の層では「証券会社や銀行等の person から勧められて」が低い。「家族・友人から良いという話を聞いて」は年収が低いほど高くなる傾向が見られる。

地域別では、阪神圏は「家族・友人から良いという話を聞いて」が首都圏に比べ高い。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層と保有経験層で大きな差がある項目は見られない。

投資信託保有種類別でも、株式投資信託保有層とその他投資信託保有層で大きな差がある項目は見られない。

問8【投資信託購入のきっかけ(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース



※ 平成25年調査より「景気や市場(相場)の状況を見て」を追加。

問8【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

	N	証券会社や銀行等の 人から勧められて	家族・友人から良いと いう話を聞いて	商品広告等を見て良さそう だったので	景気や市場(相場)の 状況を見て	新聞や雑誌記事等で 良さそうだったので	インターネットで良さそうだ と思ったので	電話案内やDMが送られて きたので	講演会セミナーで良いと いう話を聞いて	投資信託を解説した本 を読んで	その他	無回答
全体	237	58.6	21.5	9.7	9.7	8.4	7.2	6.8	5.9	5.5	5.5	1.7
性別												
男性	121	53.7	14.0	11.6	14.0	7.4	9.1	7.4	9.9	5.8	7.4	2.5
女性	116	63.8	29.3	7.8	5.2	9.5	5.2	6.0	1.7	5.2	3.4	0.9
年代別												
20代	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	44.0	44.0	12.0	4.0	8.0	16.0	0.0	0.0	8.0	4.0	4.0
40代	37	32.4	16.2	2.7	10.8	8.1	16.2	5.4	2.7	10.8	8.1	5.4
50代	53	56.6	24.5	15.1	11.3	7.5	7.5	5.7	1.9	0.0	5.7	0.0
60代	61	70.5	19.7	6.6	8.2	8.2	3.3	9.8	8.2	6.6	9.8	0.0
70歳以上	60	71.7	15.0	11.7	10.0	10.0	1.7	8.3	11.7	5.0	0.0	1.7
年収別												
100万円未満	55	63.6	30.9	1.8	7.3	5.5	3.6	12.7	1.8	3.6	5.5	0.0
~300万円未満	63	60.3	23.8	11.1	9.5	12.7	4.8	9.5	7.9	7.9	3.2	1.6
~500万円未満	52	67.3	17.3	15.4	9.6	7.7	7.7	3.8	11.5	3.8	1.9	0.0
~800万円未満	35	42.9	17.1	11.4	11.4	11.4	14.3	2.9	5.7	5.7	8.6	5.7
~1000万円未満	11	45.5	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	27.3	9.1
1000万円以上	5	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0
地域別												
首都圏	144	56.3	17.4	8.3	9.7	7.6	8.3	6.9	3.5	4.9	6.9	1.4
阪神圏	93	62.4	28.0	11.8	9.7	9.7	5.4	6.5	9.7	6.5	3.2	2.2

問8【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

注)投資信託保有種類別については回答結果をもとに以下のグループに分類した。

- ①『株式投資信託保有層』=株式投資信託保有者
- ②『公社債投資信託のみ保有層』=「公社債投資信託」のみ保有者(①は除く)
- ③『その他投資信託保有層』=①と②を除く投資信託保有者

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

	N	証券会社や銀行等の 人から勧められて	家族・友人から良いと いう話を聞いて	商品広告等を見て良さそう だったので	景気や市場(相場)の 状況を見て	新聞や雑誌記事等で 良さそうだったので	インターネットで良さそうだ と思ったので	電話案内やDMが送られて きたので	講演会セミナーで良いと いう話を聞いて	投資信託を解説した本 を読んで	その他	無回答
全体	237	58.6	21.5	9.7	9.7	8.4	7.2	6.8	5.9	5.5	5.5	1.7
保有状況別												
現在保有層	145	59.3	20.0	11.0	10.3	7.6	9.7	6.9	6.9	5.5	6.2	2.8
保有経験層	92	57.6	23.9	7.6	8.7	9.8	3.3	6.5	4.3	5.4	4.3	0.0
保有種類別												
株式投資信託保有層	93	62.4	17.2	11.8	9.7	9.7	14.0	6.5	7.5	7.5	7.5	1.1
公社債投資信託のみ保有層	13	53.8	30.8	15.4	23.1	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0
その他投資信託保有層	36	58.3	25.0	8.3	8.3	2.8	2.8	11.1	5.6	2.8	2.8	0.0

## (2) 投資信託の購入先

投資信託の購入先としては、「証券会社の店頭(電話注文を含む)」(38.8%)と「銀行の店頭(電話注文を含む)」(38.4%)が同程度で高く、他の項目を大きく引き離している。以下、「投資信託会社(直販)」(11.8%)、「証券会社のインターネット取引(携帯電話、スマートフォン等を含む)」(8.0%)、「確定拠出年金および財形貯蓄」(5.5%)の順に続く。

時系列で見ると、「証券会社の店頭(電話注文を含む)」は前回より8.0ポイント低下した。

対象者属性別にみると、性別では、男性は女性に比べ「銀行の店頭(電話注文を含む)」での購入率がやや低いが、「証券会社のインターネット取引(携帯電話、スマートフォン等を含む)」「確定拠出年金及び財形貯蓄」ともにやや高い。

年代別では、「証券会社のインターネット取引(携帯電話、スマートフォン等を含む)」での購入率は40～50代では10%を超え、60代以上よりやや高い。70歳以上では「投資信託会社(直販)」での購入率が他の層より高い。

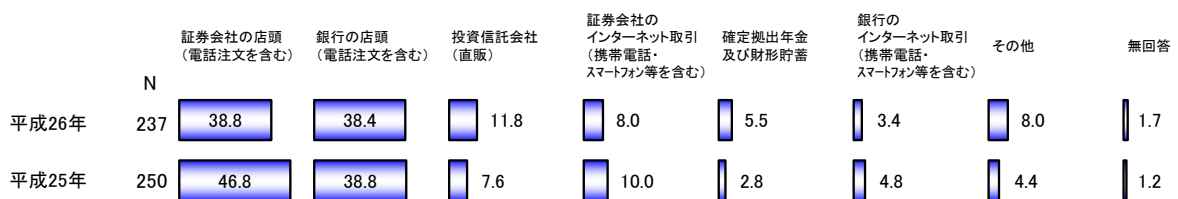
年収別では、「～300万円未満」の層は「証券会社の店頭(電話注文を含む)」での購入率が他の層より低い。

地域別では、阪神圏は「銀行の店頭(電話注文を含む)」での購入率が首都圏に比べ高い。

投資信託保有状況別で見ると、保有経験層は「投資信託会社(直販)」での購入率が現在保有層に比べ高い。一方、現在保有層では「証券会社のインターネット取引(携帯電話、スマートフォン等を含む)」と「確定拠出年金および財形貯蓄」からの購入率が保有経験層よりやや高い。

投資信託保有種類別では、その他投資信託保有層は「銀行の店頭(電話注文を含む)」が「証券会社の店頭(電話注文を含む)」を上回っている。株式投資信託保有層は「証券会社のインターネット取引(携帯電話、スマートフォン等を含む)」がその他投資信託保有層に比べやや高い。

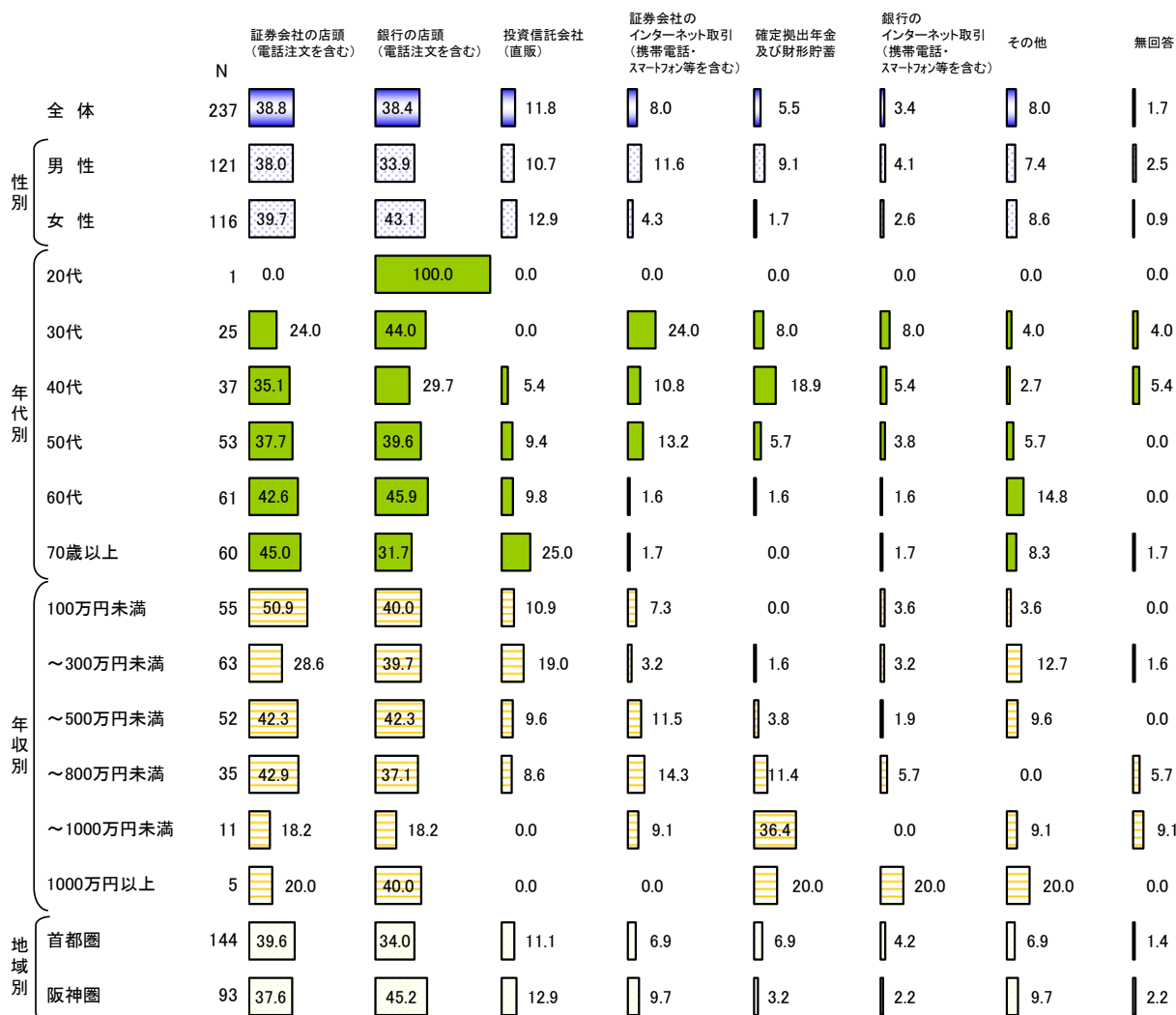
問9【投資信託の購入先(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース





### 問9【投資信託の購入先(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

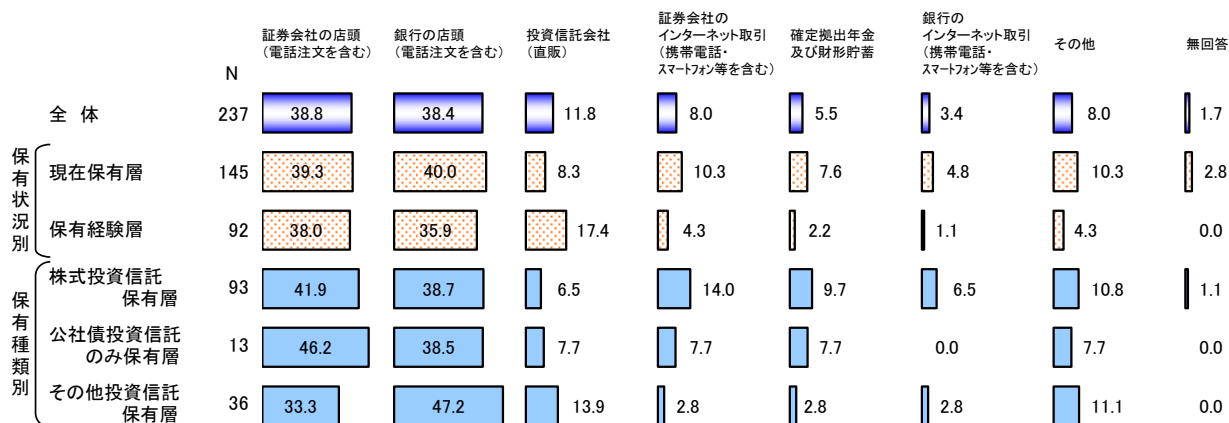
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



### 問9【投資信託の購入先(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



### (3) 販売員の説明・勧誘方法

#### ①販売員の説明・勧誘方法への満足状況

投資信託を購入した際の販売員の説明や勧誘の仕方等に「とても満足した」は3.8%、「まあ満足した」は42.6%であり、これらを合わせた“満足層”は46.4%と半数近くを占める。

一方、「あまり満足しなかった」(5.1%)と「まったく満足しなかった」(3.4%)を合わせた“不満層”は8.5%にとどまる。「とても満足した」から「まったく満足しなかった」まで、5点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、3.4点となった。なお、インターネットの利用などで「販売員と接触していない」は6.8%みられる。

時系列でみると、“満足層”比率は平成20年(55.0%)から平成22年(39.2%)に大きく低下したが、それ以降は上昇傾向が続き、回復しつつある。

対象者属性別にみると、性別では“満足層”比率に大きな差はみられないが、男性は女性に比べ「販売員と接触していない」がやや高い。これは男性の方がインターネット取引での購入率がやや高いことが影響しているとみられる。

年代別では、“満足層”比率は50～60代で50%台と高めだが、40代では29.7%と低い。

年収別では、“満足層”比率に大きな差はみられない。

地域別では、“満足層”比率は阪神圏の方がやや高い。

投資信託保有状況別にみると、“満足層”比率に大きな差はみられないが、「販売員と接触していない」は現在保有層の方が保有経験層よりやや高い。

投資信託保有種類別にみると、“満足層”比率はその他投資信託保有層の方が株式投資信託保有層より高い。

#### 問10【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／時系列

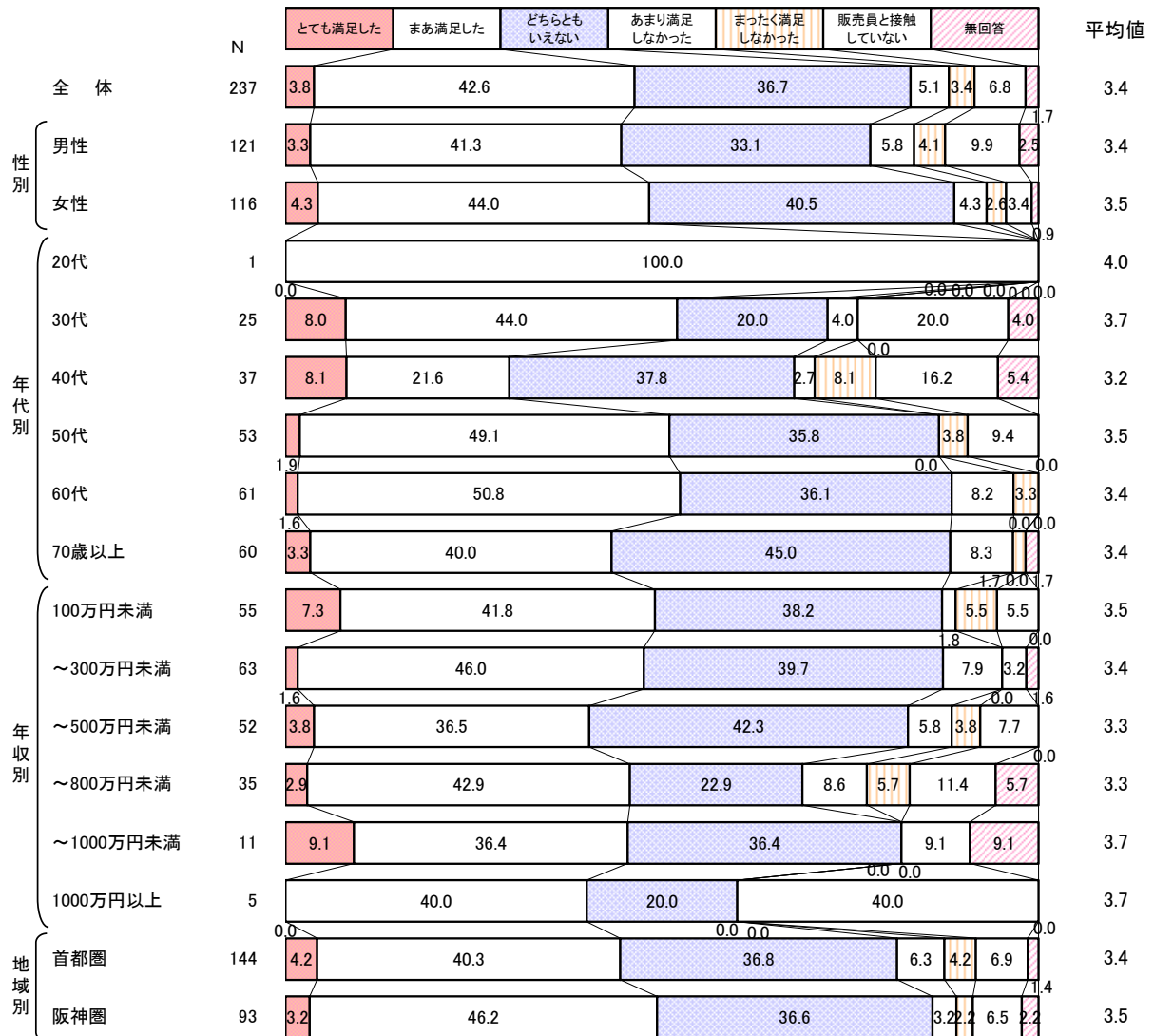
##### －現在保有層・保有経験層ベース

	N	とても満足した	まあ満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	まったく満足 しなかった	販売員と接触 していない	無回答	平均値
平成26年	237	3.8	42.6			36.7	5.1 3.4	6.8	3.4
平成25年	250	3.2	42.4			36.8	7.6	8.0	3.4
平成23年	241	3.7	38.2			39.0	10.8	5.4	3.3
平成22年	255	3.5	35.7			42.0	8.2 4.3	5.5	3.3
平成20年	231	3.9	51.1			33.8	6.5	2.6	3.5

問 10【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

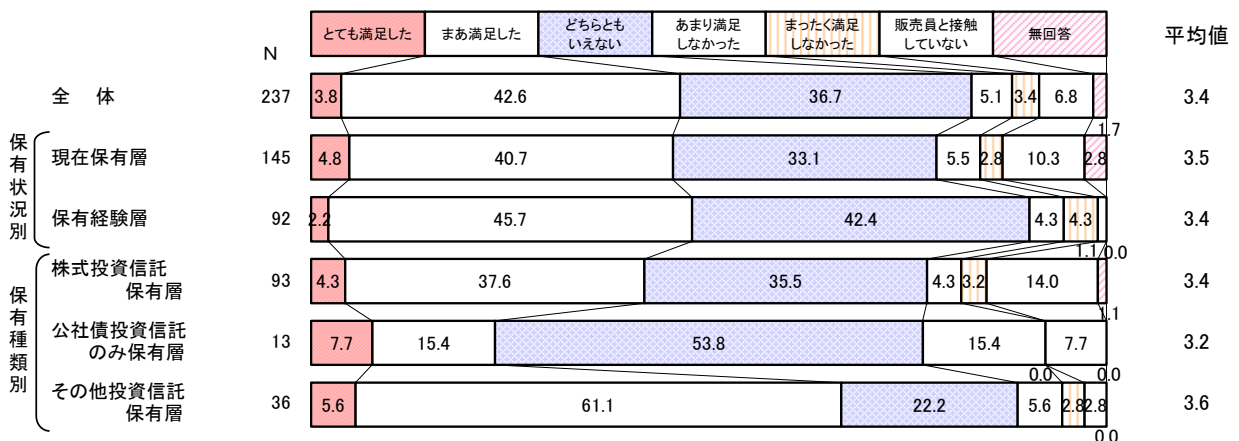
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 10【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



②販売員の説明・勧誘方法への満足理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者)

現在保有層・保有経験層のうち、販売員の説明・勧誘方法に“満足”した人に満足した理由を尋ねたところ、「商品のリスクもきちんと説明した」(60.9%)が最も高い。次いで「商品の魅力をわかりやすく説明した」(46.4%)が高く、「自分のニーズにあった商品を勧めてくれた」(26.4%)と「質問にきちんと答えてくれた」(20.0%)が同程度で続く。

時系列でみると、大きな変化がみられる項目はない。

対象者属性別にみると、性別では、男性は女性に比べ「商品のリスクもきちんと説明した」は低い、「質問にきちんと答えてくれた」が高い。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「商品の魅力をわかりやすく説明した」が保有経験層に比べ高い。

問 10-1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)】時系列

ー現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

	N	商品のリスクも きちんと説明した	商品の魅力を わかりやすく説明した	自分のニーズに あった商品を 勧めてくれた	質問にきちんと 答えてくれた	その他	無回答
平成26年	110	60.9	46.4	26.4	20.0	1.8	0.0
平成25年	114	64.0	47.4	29.8	24.6	0.9	1.8
平成23年	101	66.3	41.6	28.7	19.8	0.0	0.0
平成22年	100	50.0	49.0	30.0	23.0	1.0	0.0
平成20年	127	61.4	42.5	22.0	26.0	0.8	0.8

問 10-1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)】対象者属性別

ー現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

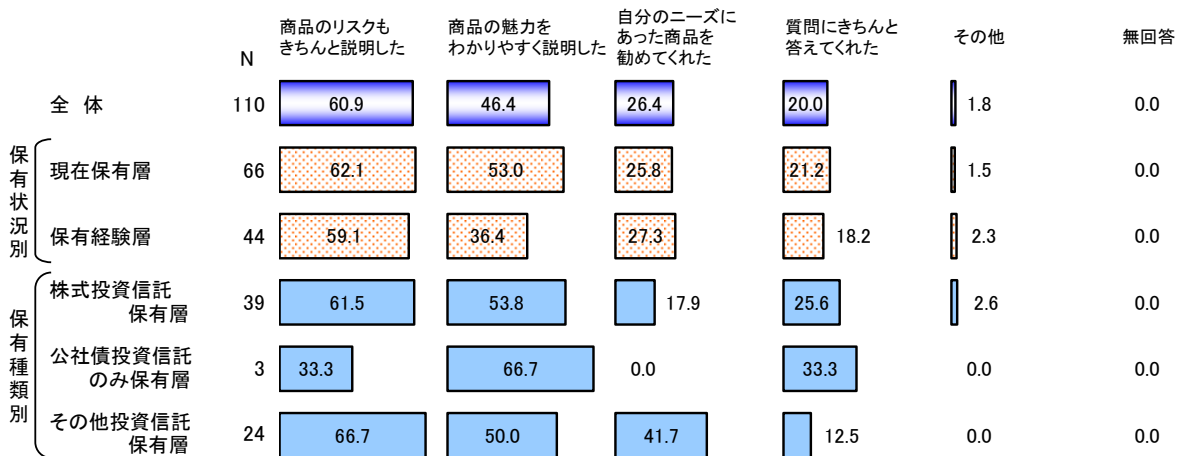
(上段:N)(下段:%)

		全 体	商品のリスク もきちんと 説明した	商品の魅力を わかりやすく 説明した	自分のニーズ にあった商品 を勧めてくれた	質問に きちんと 答えてくれた	その他	無回答
全 体		110 100.0	67 60.9	51 46.4	29 26.4	22 20.0	2 1.8	-
性別	男性	54 100.0	30 55.6	23 42.6	13 24.1	14 25.9	1 1.9	-
	女性	56 100.0	37 66.1	28 50.0	16 28.6	8 14.3	1 1.8	-
年代別	20代	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	30代	13 100.0	11 84.6	4 30.8	7 53.8	-	-	-
	40代	11 100.0	7 63.6	5 45.5	4 36.4	2 18.2	-	-
	50代	27 100.0	15 55.6	12 44.4	8 29.6	7 25.9	-	-
	60代	32 100.0	19 59.4	18 56.3	7 21.9	6 18.8	1 3.1	-
	70歳以上	26 100.0	14 53.8	11 42.3	3 11.5	7 26.9	1 3.8	-
	年収別	100万円未満	27 100.0	19 70.4	16 59.3	7 25.9	5 18.5	-
~300万円未満		30 100.0	19 63.3	14 46.7	9 30.0	1 3.3	2 6.7	-
~500万円未満		21 100.0	12 57.1	7 33.3	3 14.3	7 33.3	-	-
~800万円未満		16 100.0	10 62.5	7 43.8	6 37.5	3 18.8	-	-
~1000万円未満		5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-
1000万円以上		2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-
地域別	首都圏	64 100.0	38 59.4	28 43.8	18 28.1	12 18.8	1 1.6	-
	阪神圏	46 100.0	29 63.0	23 50.0	11 23.9	10 21.7	1 2.2	-

問 10-1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



③販売員の説明・勧誘方法への不満理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法不満者)

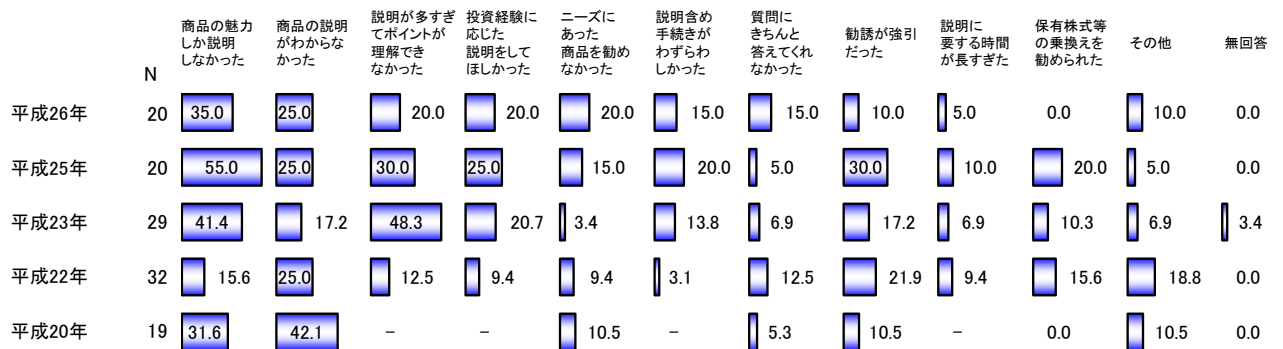
販売員の説明・勧誘方法に“不満”だった人に不満理由を尋ねた。N数(サンプル数)が少ないため参考値ではあるが、「商品の魅力しか説明しなかった」(35.0%)が最も高く、「商品の説明がわからなかった」(25.0%)、「説明が多すぎてポイントが理解できなかった」「投資経験に応じた説明をしてほしかった」「ニーズにあった商品を勧めなかった」(ともに 20.0%)などが続く。

時系列でみると、「商品の魅力しか説明しなかった」と「勧誘が強引だった」は前回より低くなった。また、「説明が多すぎてポイントが理解できなかった」は平成 23 年以降低下傾向となっている。

問 10-2 【販売員の説明・勧誘への不満理由(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法不満者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



※ 平成 22 年調査より「説明を受ける事項が多すぎて重要なポイントが理解できなかった」「説明に要する時間が長すぎた」「投資経験に応じた説明をしてほしかった」「説明を含めた手続きがわずらわしかった」を追加。

#### (4) 投資信託購入時の第三者への相談

投資信託の購入にあたっては「誰にも相談しなかった」が56.5%と過半数を占めている。相談した場合の具体的な相手としては、「家族に相談した」が31.2%で最も高い。「知人に相談した」は8.0%、「FPに相談した」は5.5%にとどまる。

時系列でみると、大きな変化がみられる項目はない。

対象者属性別にみると、性別、年代別、年収別ともに、大きな差はみられない。

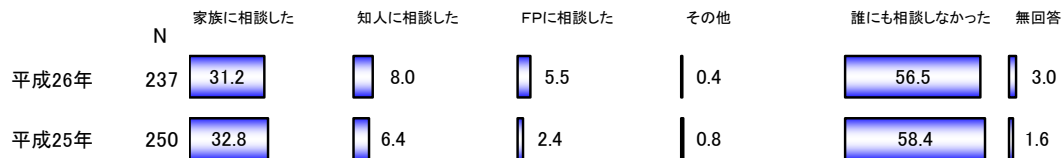
地域別では、阪神圏は「誰にも相談しなかった」が首都圏に比べ低く、具体的には「知人に相談した」が高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層と保有経験層には大きな差はみられない。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層は「誰にも相談しなかった」がその他投資信託保有層に比べやや高く、具体的には「家族に相談した」がやや低い。

#### 問11【投資信託購入時の第三者への相談(重複回答)／時系列

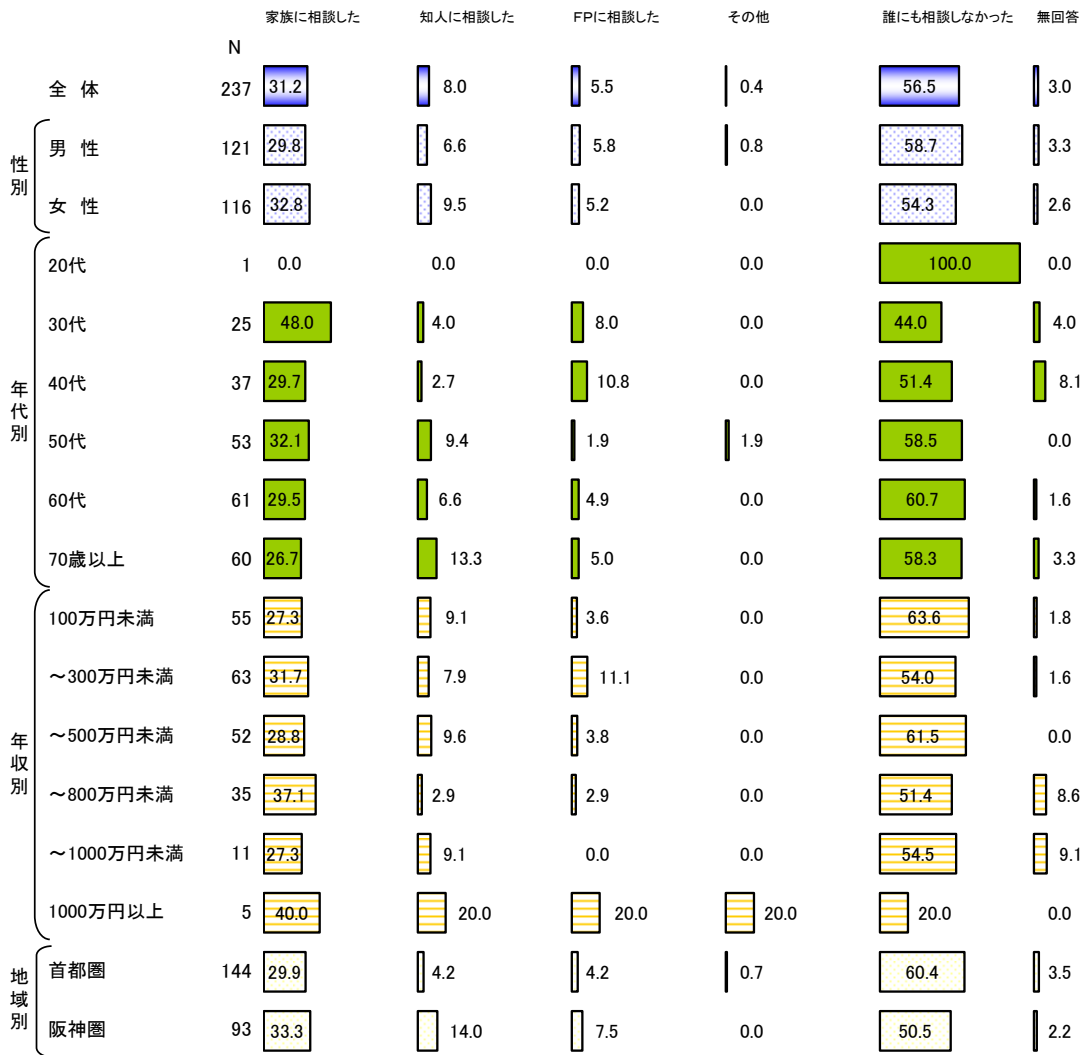
—現在保有層・保有経験層ベース】



問 11 【投資信託購入時の第三者への相談(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

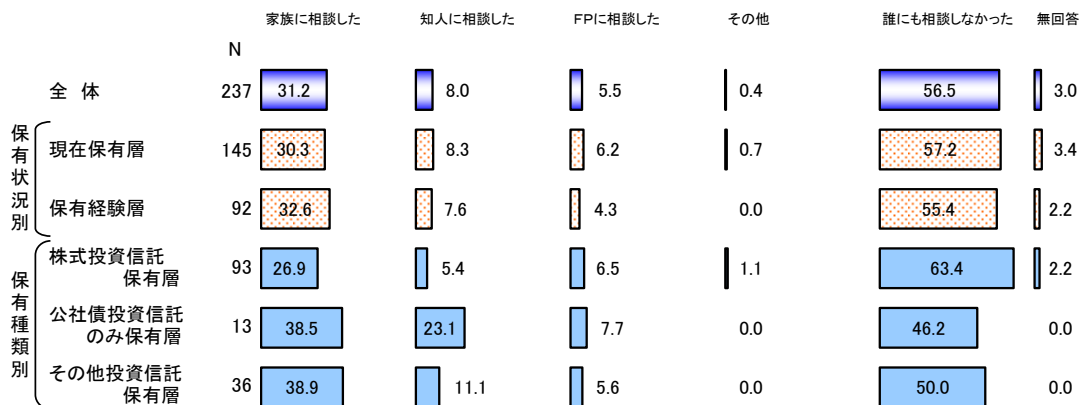
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 11 【投資信託購入時の第三者への相談(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



## (5) 投資信託購入の際の重視点／今後の重視点

### <購入の際重視した点>

「安全性の高さ」(51.9%)が最も高い。以下、「値上がり期待」(36.3%)、「過去の運用実績」(29.5%)、「過去の分配金額」(23.6%)の順に続く。

時系列でみると、前回まで上昇傾向がみられた「過去の運用実績」では今回は前回より7.3ポイント低下した。一方、下降傾向がみられていた「値上がり期待」は前回と同程度を維持している。

「換金のしやすさ」は小幅に増減を繰り返しており、今回は前回より5.3ポイント低下した。「純資産額の大きさ」も前回より4.6ポイントとわずかながら低下した。

対象者属性別でみると、性別では、女性は「安全性の高さ」の重視度が高く、他を大きく引き離している。男性では「値上がり期待」が高く、「安全性の高さ」と同程度で並ぶ。「商品コンセプト」「手数料や信託報酬の水準」は男性の方がやや高い。

年代別では、「安全性」の重視度は若年層ほど高い傾向がみられるのに対し、「値上がり期待」は高年齢層ほどやや高い傾向となっている。

年収別でみると、年収が低いほど「安全性の高さ」の重視度が高くなる傾向がみられる。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「安全性の高さ」の重視度が高く、「商品内容のわかりやすさ」もやや高いが、「分配頻度の多さ」の重視度は低い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べ「安全性の高さ」「商品内容のわかりやすさ」「値上がり期待」「換金のしやすさ」の重視度がやや低い。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層は「値上がり期待」の重視度がその他投資信託保有層と比べて高い。

### <今後購入の際に重視したい点>

「安全性の高さ」が55.7%で特に高く、第2位は「値上がり期待」(38.4%)、第3位は「過去の運用実績」(24.9%)である。購入時の重視点と比べると、「過去の運用実績」は4.6ポイント、「過去の分配金額」は8.0ポイント、「分配頻度の多さ」は6.4ポイント今後の重視度の方が低い。

時系列でみると、「過去の運用実績」は購入時と同様に前回まで上昇傾向がみられたが、今回は伸びがみられない。

対象者属性別にみると、性別では、購入時と同様に女性は「安全性の高さ」の重視度が高い。男性は「値上がり期待」の重視度が女性より高い。

年代別では、購入時と同様に「安全性の高さ」の重視度は若年層ほど高い。50代は他の年代に比べ「分配頻度の多さ」の重視度が高い。

年収別でみると、購入時と同様に「安全性の高さ」の重視度は年収が低いほど高い。「～800万円未満」の層はそれ以下の層に比べ「過去の運用実績」「手数料や信託報酬の水準」「商品コンセプト」の重視度がやや高い。

地域別にみると、阪神圏では「過去の運用実績」「過去の分配金額」「分配頻度の多さ」の重視度が首都圏より高いが、「評価会社による評価」は低い。

投資信託保有状況別にみると、保有経験層は現在保有層に比べ「商品内容のわかりやすさ」の重視度が高い。

投資信託保有種類別にみると、その他投資信託保有層は株式投資信託保有層に比べて「換金のしやすさ」の重視度が高く、「過去の運用実績」もやや高い。



問 12①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	商品コンセプト	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勧めて	その他	無回答
平成26年	237	51.9	36.3	29.5	23.6	20.3	14.8	13.5	10.5	10.1	7.6	4.2	4.6	2.1	2.1
平成25年	250	49.6	36.4	36.8	22.0	17.2	14.0	18.8	11.2	8.4	6.0	8.8	6.0	1.6	2.8
平成23年	241	54.4	40.7	34.0	25.7	23.7	12.9	12.4	10.0	5.4	6.2	5.0	3.7	0.4	1.7
平成22年	255	45.9	42.0	30.6	21.6	20.8	12.9	17.3	7.8	9.8	8.6	5.5	6.7	1.2	0.8

問 12①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	商品コンセプト	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勧めて	その他	無回答
全体	237	51.9	36.3	29.5	23.6	20.3	14.8	13.5	10.5	10.1	7.6	4.2	4.6	2.1	2.1
性別															
男性	121	43.0	41.3	28.9	23.1	18.2	14.9	12.4	13.2	14.0	8.3	4.1	4.1	1.7	3.3
女性	116	61.2	31.0	30.2	24.1	22.4	14.7	14.7	7.8	6.0	6.9	4.3	5.2	2.6	0.9
年代別															
20代	1	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	64.0	20.0	32.0	12.0	12.0	32.0	8.0	16.0	24.0	12.0	8.0	4.0	4.0	4.0
40代	37	67.6	32.4	24.3	24.3	8.1	24.3	10.8	10.8	13.5	0.0	10.8	2.7	2.7	5.4
50代	53	60.4	28.3	35.8	28.3	30.2	15.1	15.1	13.2	11.3	5.7	3.8	1.9	1.9	1.9
60代	61	49.2	41.0	23.0	21.3	16.4	3.3	11.5	8.2	4.9	9.8	0.0	6.6	3.3	1.6
70歳以上	60	31.7	48.3	31.7	26.7	26.7	11.7	18.3	8.3	6.7	10.0	3.3	6.7	0.0	0.0
年取別															
100万円未満	55	60.0	32.7	27.3	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	3.6	12.7	5.5	5.5	5.5	1.8
～300万円未満	63	50.8	42.9	25.4	30.2	30.2	6.3	9.5	11.1	4.8	4.8	0.0	4.8	0.0	1.6
～500万円未満	52	51.9	32.7	26.9	19.2	21.2	13.5	15.4	7.7	15.4	1.9	7.7	5.8	1.9	0.0
～800万円未満	35	40.0	31.4	40.0	28.6	8.6	22.9	8.6	20.0	22.9	8.6	5.7	2.9	0.0	2.9
～1000万円未満	11	63.6	27.3	27.3	18.2	0.0	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1
1000万円以上	5	40.0	60.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
地域別															
首都圏	144	57.6	34.7	28.5	20.8	15.3	18.1	11.1	11.8	10.4	6.3	4.9	4.9	2.1	2.8
阪神圏	93	43.0	38.7	31.2	28.0	28.0	9.7	17.2	8.6	9.7	9.7	3.2	4.3	2.2	1.1

問 12①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	商品コンセプト	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勧めて	その他	無回答
全体	237	51.9	36.3	29.5	23.6	20.3	14.8	13.5	10.5	10.1	7.6	4.2	4.6	2.1	2.1
保有状況別															
現在保有層	145	48.3	34.5	29.7	24.8	21.4	11.7	11.0	11.7	11.7	7.6	5.5	5.5	2.8	2.8
保有経験層	92	57.6	39.1	29.3	21.7	18.5	19.6	17.4	8.7	7.6	7.6	2.2	3.3	1.1	1.1
保有種類別															
株式投資信託保有層	93	47.3	44.1	31.2	24.7	21.5	11.8	8.6	12.9	14.0	10.8	4.3	3.2	4.3	1.1
公社債投資信託のみ保有層	13	84.6	15.4	0.0	15.4	7.7	23.1	7.7	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0
その他投資信託保有層	36	41.7	19.4	38.9	30.6	27.8	8.3	19.4	11.1	5.6	0.0	11.1	13.9	0.0	0.0

問 12②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	手数料や信託報酬の水準	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答
平成26年	237	55.7	38.4	24.9	15.6	13.9	13.5	13.1	11.0	9.7	8.9	5.5	0.8	2.5	5.9
平成25年	250	57.2	36.8	28.4	10.8	14.0	13.2	15.2	10.4	12.4	8.0	6.0	1.2	5.2	6.0
平成23年	241	65.6	38.2	24.5	17.0	16.2	14.9	17.8	11.6	10.0	7.9	4.1	1.2	0.8	5.0
平成22年	255	60.0	40.4	20.4	12.9	12.2	16.5	18.8	16.1	6.7	8.2	5.9	2.0	2.4	3.5

問 12②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	手数料や信託報酬の水準	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答
全体	237	55.7	38.4	24.9	15.6	13.9	13.5	13.1	11.0	9.7	8.9	5.5	0.8	2.5	5.9
性別															
男性	121	46.3	42.1	26.4	16.5	14.0	14.9	11.6	13.2	10.7	11.6	4.1	0.0	3.3	6.6
女性	116	65.5	34.5	23.3	14.7	13.8	12.1	14.7	8.6	8.6	6.0	6.9	1.7	1.7	5.2
年代別															
20代	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	48.0	32.0	32.0	8.0	8.0	20.0	12.0	8.0	12.0	8.0	8.0	0.0	4.0	8.0
40代	37	70.3	45.9	27.0	16.2	8.1	8.1	5.4	18.9	8.1	5.4	5.4	0.0	5.4	5.4
50代	53	60.4	35.8	30.2	18.9	26.4	13.2	9.4	17.0	17.0	7.5	5.7	0.0	1.9	3.8
60代	61	50.8	36.1	19.7	14.8	8.2	9.8	14.8	8.2	9.8	11.5	1.6	1.6	3.3	9.8
70歳以上	60	51.7	40.0	21.7	16.7	15.0	16.7	18.3	5.0	3.3	10.0	8.3	1.7	0.0	3.3
年収別															
100万円未満	55	69.1	29.1	20.0	14.5	16.4	14.5	16.4	3.6	10.9	7.3	5.5	3.6	3.6	1.8
～300万円未満	63	58.7	39.7	22.2	12.7	11.1	17.5	7.9	11.1	3.2	9.5	4.8	0.0	1.6	6.3
～500万円未満	52	55.8	36.5	19.2	25.0	19.2	11.5	19.2	9.6	5.8	5.8	9.6	0.0	3.8	3.8
～800万円未満	35	40.0	37.1	37.1	14.3	14.3	14.3	8.6	20.0	20.0	11.4	5.7	0.0	0.0	8.6
～1000万円未満	11	54.5	63.6	54.5	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1
1000万円以上	5	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
地域別															
首都圏	144	56.9	39.6	21.5	11.8	10.4	12.5	12.5	12.5	9.7	12.5	4.9	1.4	1.4	6.9
阪神圏	93	53.8	36.6	30.1	21.5	19.4	15.1	14.0	8.6	9.7	3.2	6.5	0.0	4.3	4.3

問 12②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	過去の分配金額	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	手数料や信託報酬の水準	商品コンセプト	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答
全体	237	55.7	38.4	24.9	15.6	13.9	13.5	13.1	11.0	9.7	8.9	5.5	0.8	2.5	5.9
保有状況別															
現在保有層	145	53.8	39.3	25.5	17.9	15.9	9.7	11.7	11.0	11.7	9.7	6.2	0.7	2.1	6.2
保有経験層	92	58.7	37.0	23.9	12.0	10.9	19.6	15.2	10.9	6.5	7.6	4.3	1.1	3.3	5.4
保有種類別															
株式投資信託保有層	93	49.5	43.0	24.7	17.2	20.4	8.6	4.3	14.0	14.0	15.1	5.4	1.1	3.2	4.3
公社債投資信託のみ保有層	13	76.9	30.8	0.0	0.0	0.0	30.8	30.8	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7
その他投資信託保有層	36	61.1	36.1	38.9	27.8	11.1	5.6	25.0	5.6	11.1	0.0	8.3	0.0	0.0	2.8

## (6) 投資信託の購入資金

投資信託の購入資金は、「定期性の預貯金等から」が 42.2%で特に高い。次いで「月々の収入から」(30.4%)、「退職金・相続等の臨時収入から」(15.2%)の順に続く。他にも、「株式・債券等を買ったお金」「ボーナスから」「生保・損保の満期・解約金から」も 10%弱みられる。

時系列でみると、「ボーナスから」は前回より 5.5ポイント低くなった。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「月々の収入から」が高く、「定期性の預貯金等から」と同程度で並び、「株式・債券等を買ったお金」も女性よりやや高い。女性は「定期性の預貯金等から」が高い。

年代別では、40～50代は60代以上に比べ「月々の収入から」が高く、「定期性の預貯金等から」と同程度となっている。一方、「退職金・相続等の臨時収入から」は60代以上で高く、70歳以上では「月々の収入から」を上回る。「株式・債券等を買ったお金」も年代が上がるにつれ高くなる傾向がややみられる。

年収別では、大きな差はみられないが、年収が高いほど「月々の収入から」がやや高くなる傾向となっている。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「定期性の預貯金等から」は低い、「月々の収入から」や「株式・債券等を買ったお金」はやや高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「退職金・相続等の臨時収入から」「株式・債券等を買ったお金」「他の投資信託を買ったお金」が保有経験層より高い。保有経験層では「ボーナスから」が現在保有層を大きく上回り、購入資金の第3位となっている。「月々の収入から」も現在保有層より保有経験層の方がやや高く、保有経験層では売却益や臨時収入よりボーナスや定期的な収入で投資信託を購入していた人が多いことがうかがえる。保有経験層では「生保・損保の満期・解約金から」も現在保有層をやや上回っている。

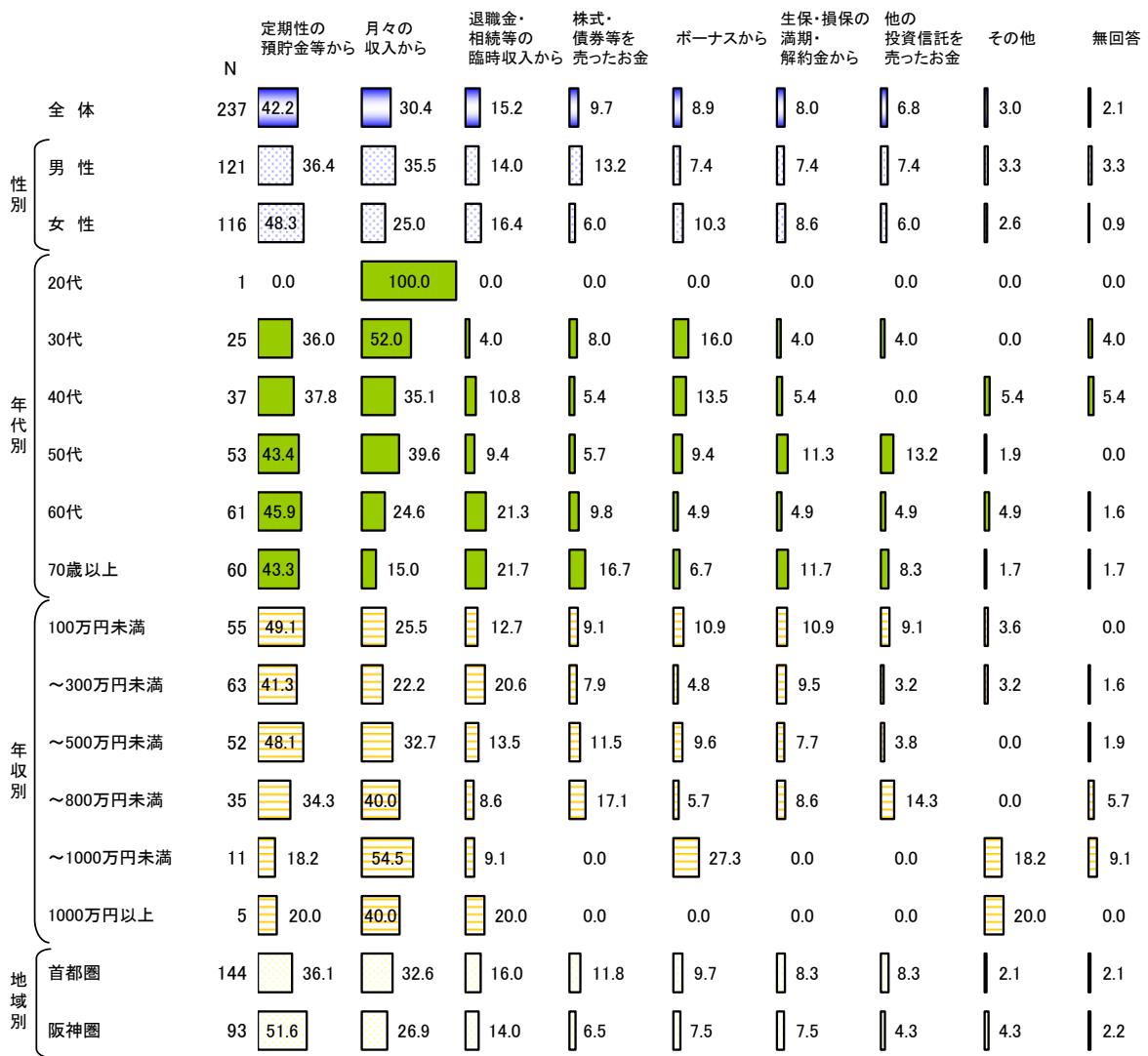
投資信託保有種類別では、大きな差はみられない。

問7【投資信託の購入資金(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	定期性の 預貯金等から	月々の 収入から	退職金・ 相続等の 臨時収入から	株式・ 債券等 を買った お金	ボーナス から	生保・損保 の満期・ 解約金 から	他の 投資信託 を買った お金	その他	無回答
平成26年	237	42.2	30.4	15.2	9.7	8.9	8.0	6.8	3.0	2.1
平成25年	250	40.8	27.6	16.8	9.2	14.4	8.0	6.0	2.8	1.2
平成23年	241	39.8	29.5	12.9	10.8	13.7	6.2	7.5	3.3	1.7
平成22年	255	44.3	30.2	12.5	7.1	13.7	4.3	7.8	3.9	0.8
平成20年	231	52.8	25.5	15.6	10.0	10.0	9.5	5.2	3.9	0.0

問7【投資信託の購入資金(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

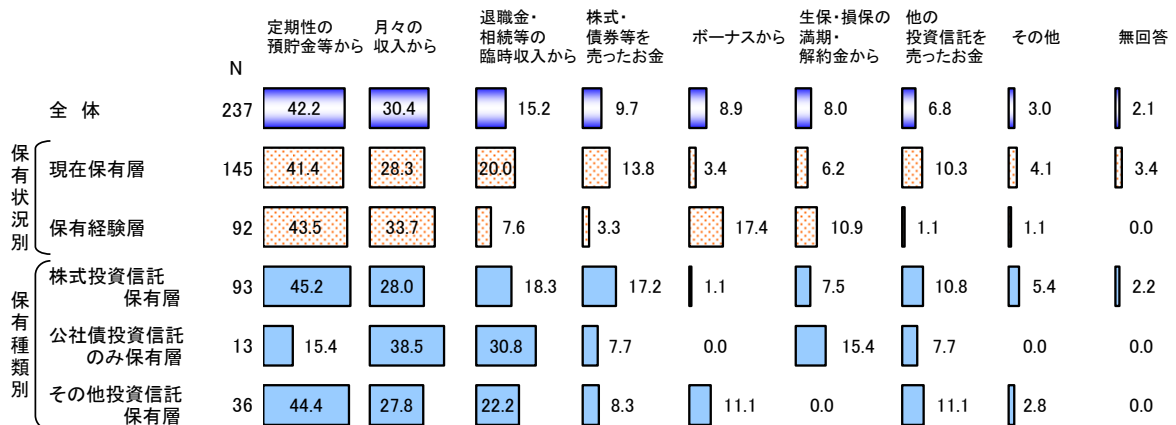
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問7【投資信託の購入資金(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



## (7) 投資信託の購入目的

投資信託を購入した目的は、「老後の生活資金」(30.4%)が最も高い。次いで「資産のリスク分散」(17.7%)、「経済の勉強のため」(13.5%)の順に続き、他の目的はいずれも10%未満と低い。なお、「特に目的はないが資金を増やしたいため」も36.7%と高い。

時系列でみると、前回に比べ「資産のリスク分散」は4.7ポイント低くなり、平成20年以降最低となった。一方、「経済の勉強のため」は6.7ポイント高くなり、「資産のリスク分散」との差が縮まった。「住宅資金」は前回高くなったが、今回は6.7ポイント低下し、平成20年以降最低となった。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「資産のリスク分散」が女性より高く、「老後の生活資金」「経済の勉強のため」もやや高い。女性は「子供または孫のための教育資金」「特に目的はないが資金を増やしたいため」が男性よりもやや高い。

年代別では、大きな差はみられない。

年収別では、「特に目的はないが資金を増やしたいため」は「100万円未満」の層で最も高く、この層では他の理由が低めである。「～800万円未満」の層では、「資産のリスク分散」と「経済の勉強のため」が「老後の生活資金」を上回り、「特に目的はないが、資産を増やしたいため」はやや低い。

地域別では、首都圏は阪神圏より「老後の生活資金」が低く、「特に目的はないが、資産を増やしたいため」がやや高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「特に目的はないが資金を増やしたいため」が保有経験層に比べて低く、「老後の生活資金」や「資産のリスク分散」等具体的な目的を持って購入した比率が高い。

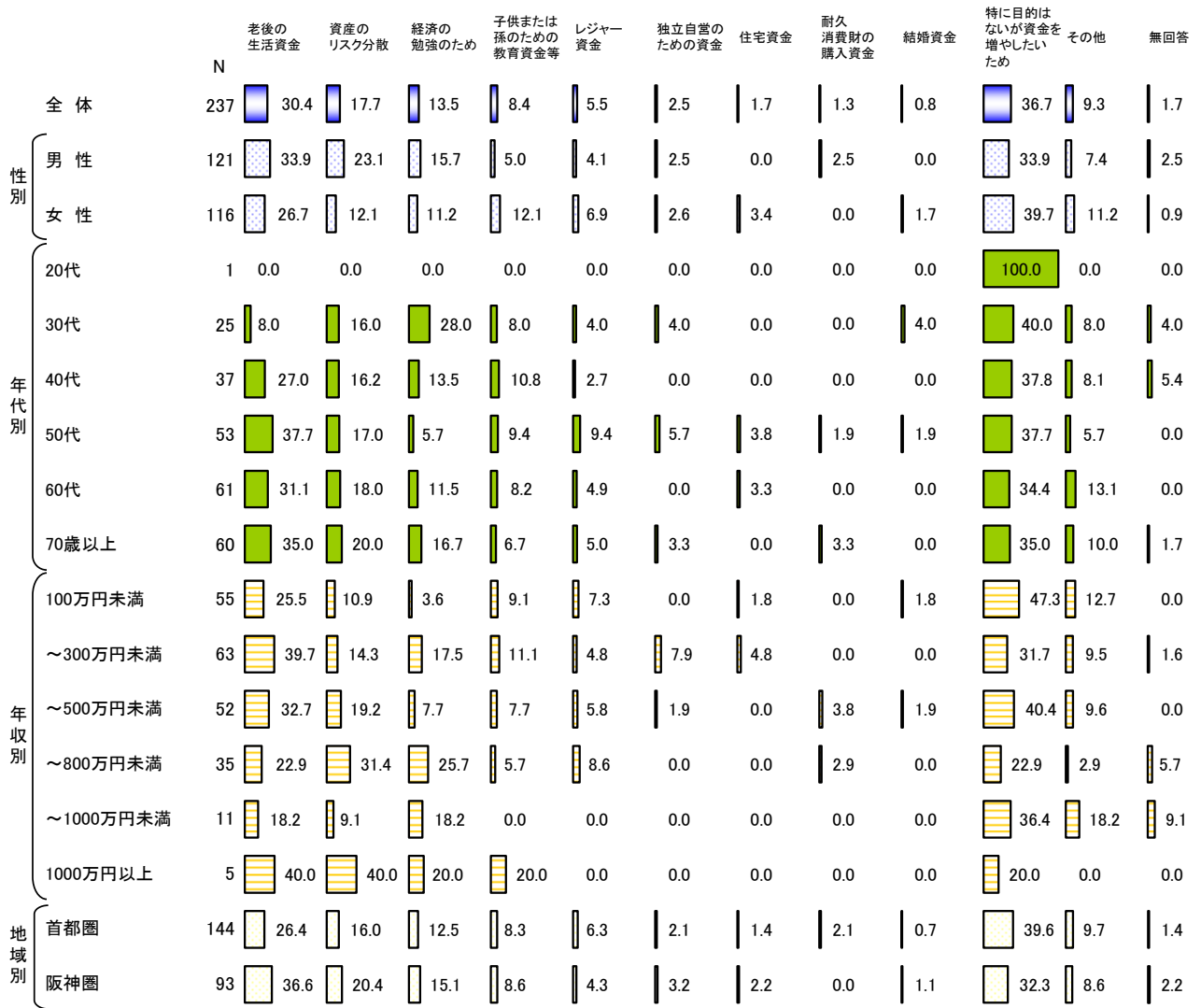
投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層は「経済の勉強のため」がその他投資信託保有層と比べやや高い。

問6【投資信託の購入目的(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	老後の生活資金	資産のリスク分散	経済の勉強のため	子供または孫のための教育資金等	レジャー資金	独立自営のための資金	住宅資金	耐久消費財の購入資金	結婚資金	特に目的はないが資金を増やしたいため	その他	無回答
平成26年	237	30.4	17.7	13.5	8.4	5.5	2.5	1.7	1.3	0.8	36.7	9.3	1.7
平成25年	250	29.2	22.4	6.8	6.8	6.4	2.0	8.4	2.4	2.8	36.4	4.8	1.2
平成23年	241	32.0	24.9	8.3	7.5	3.3	2.5	3.7	2.1	1.7	34.9	4.1	1.2
平成22年	255	31.8	21.2	9.0	5.5	6.7	0.4	4.7	1.6	2.0	38.8	6.3	0.4
平成20年	231	34.6	28.1	10.8	6.5	4.8	1.7	3.0	3.5	0.0	35.5	6.9	0.0

問6【投資信託の購入目的(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

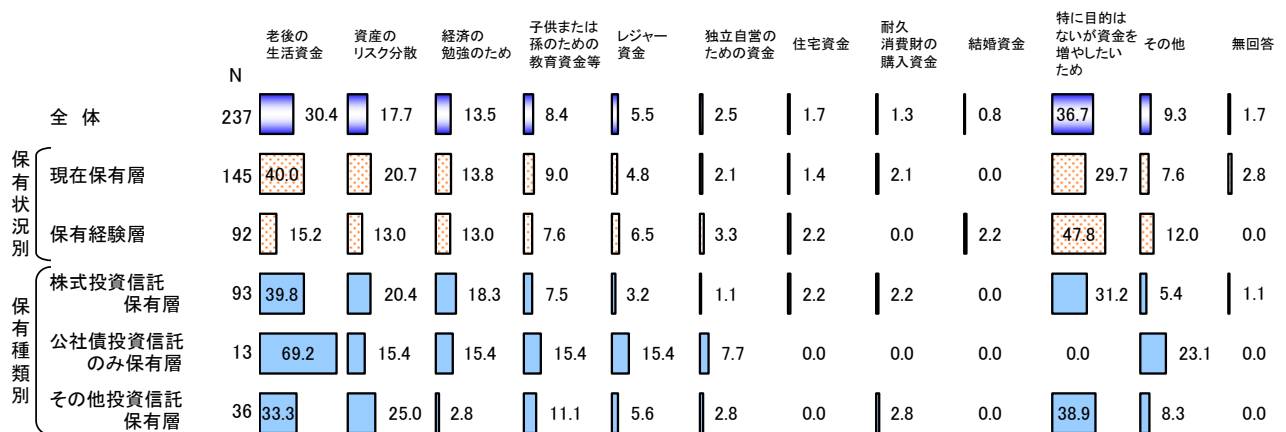
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問6【投資信託の購入目的(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



## (8) 投資信託の運用実績評価

投資信託の運用実績評価を尋ねると、「期待した以上だった」は3.4%、「期待通りの実績だった」は19.8%であり、これらを合わせた“期待以上”は23.2%である。一方、「期待していたよりもやや悪かった」は25.3%、「全く期待はずれだった」は19.8%であり、これらを合わせた“期待以下”は45.1%とほぼ半数を占め、“期待以上”を大きく上回っている。また、「なんともいえない(わからない)」と評価を保留した人も29.5%みられる。「期待した以上だった」から「全く期待はずれだった」に、4点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、2.1点となった。

時系列でみると、平成22年以降“期待以上”に上昇傾向、“期待以下”に下降傾向がみられ、相対的な評価が上がってきている。平均値でも平成20年のレベルに戻ったことがわかる。

対象者属性別でみると、性別では、女性は「なんともいえない(わからない)」の評価保留率が高い。平均値からみた相対的な評価は男性の方がやや高い。

年代別にみると、“期待以下”の比率は年代が上がるにつれ、高くなる傾向がみられる。一方、「なんともいえない(わからない)」は年代が下がるにつれ高くなり、40代はこれが約4割を占め、“期待以上”は10%台と低い。平均値からみた相対的な評価が最も高いのは50代である。

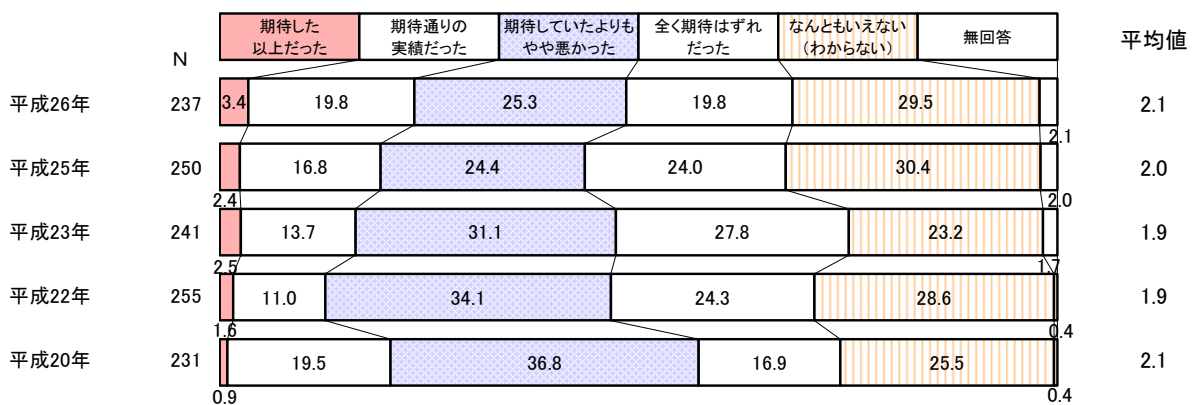
年収別では、「100万円未満」の層は「なんともいえない(わからない)」が4割以上を占めるが、“期待以下”の比率が低いため、相対的な評価は高くなっている。「～800万円未満」の層は「なんともいえない(わからない)」と評価を保留する率が低く、“期待以下”の比率がやや高いが、相対的な評価は低くはない。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ“期待以上”が高く、相対的に評価が高い。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層と保有経験層では相対的な評価に大きな差はみられないが、「なんともいえない(わからない)」は現在保有層の方が高い。

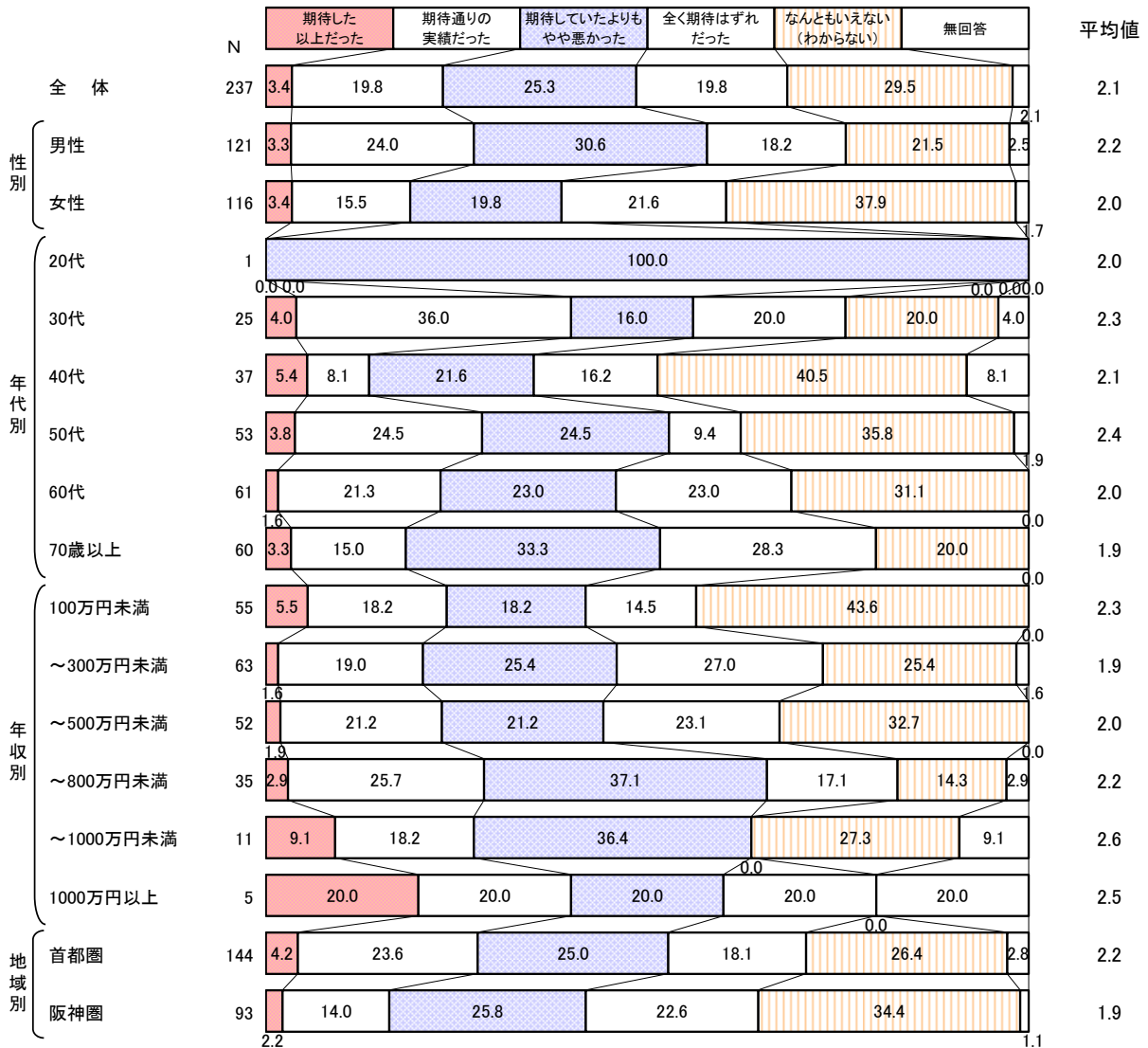
投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層より「なんともいえない(わからない)」が低く、“期待以下”の比率が高いため、相対的な評価は低くなっている。

問16【投資信託の運用実績評価(単数回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



問 16【投資信託の運用実績評価(単数回答)／対象者属性別－現在保有層・保有経験層ベース】

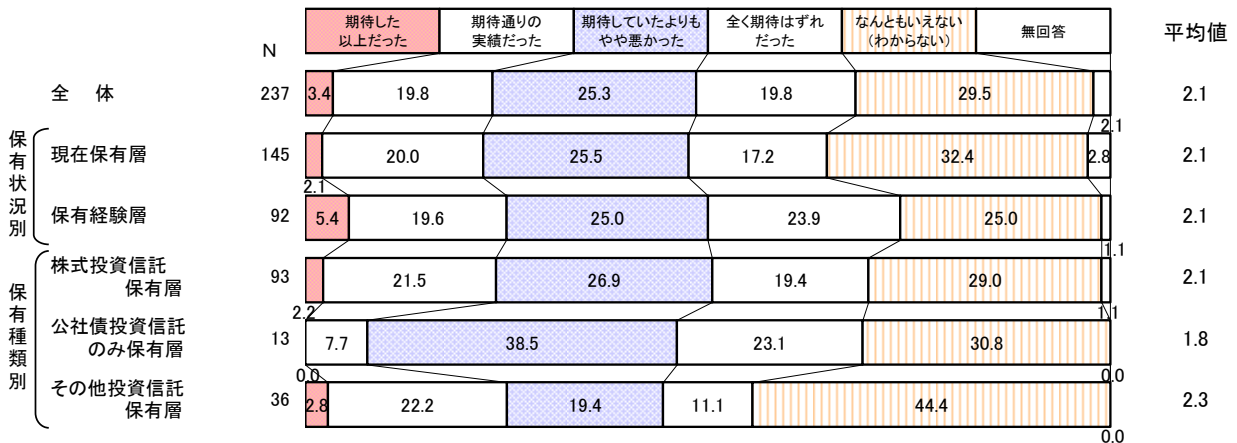
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 16【投資信託の運用実績評価(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。





## (9) 償還・売却資金の流出先

投資信託の償還あるいは売却した資金の流出先は、「預貯金にまわした」が38.4%で最も高く、「生活資金にまわした」(27.0%)、「他の投資信託を購入した」(21.5%)の順に続く。「株式・債券を購入した」は9.3%、「金融商品以外の商品の購入にあてた」は2.1%にとどまり、「売却・償還したことはない」も15.2%みられる。

時系列でみると、「他の投資信託を購入した」は平成23年以降上昇傾向がみられるが、「金融商品以外の購入にあてた」は同年以降下降傾向となっている。「売却・償還したことはない」は前回より4.8ポイント高くなった。

対象者属性別にみると、性別では、女性は「預貯金にまわした」が高い。

年代別では、大きな差はみられない。

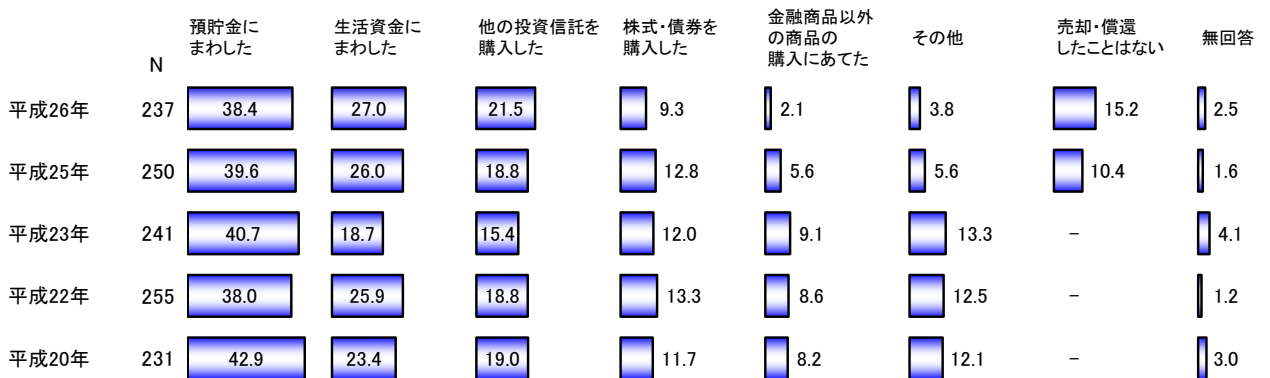
年収別では、年収が低いほど「預貯金にまわした」率が高くなる傾向がみられる。

地域別では、首都圏は「預貯金にまわした」が低く、「売却・償還したことはない」がやや高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「他の投資信託を購入した」が最も高く、「預貯金にまわした」や「生活資金にまわした」を上回っている。「売却・償還したことはない」も現在保有層の方が高い。一方、保有経験層は「預貯金にまわした」が50%を上回り特に高く、「生活資金にまわした」も現在保有層に比べて高いが、「他の投資信託を購入した」「株式・債券を購入した」は現在保有層を下回り、ごくわずかに過ぎない。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層とその他投資信託保有層には大きな差はみられない。

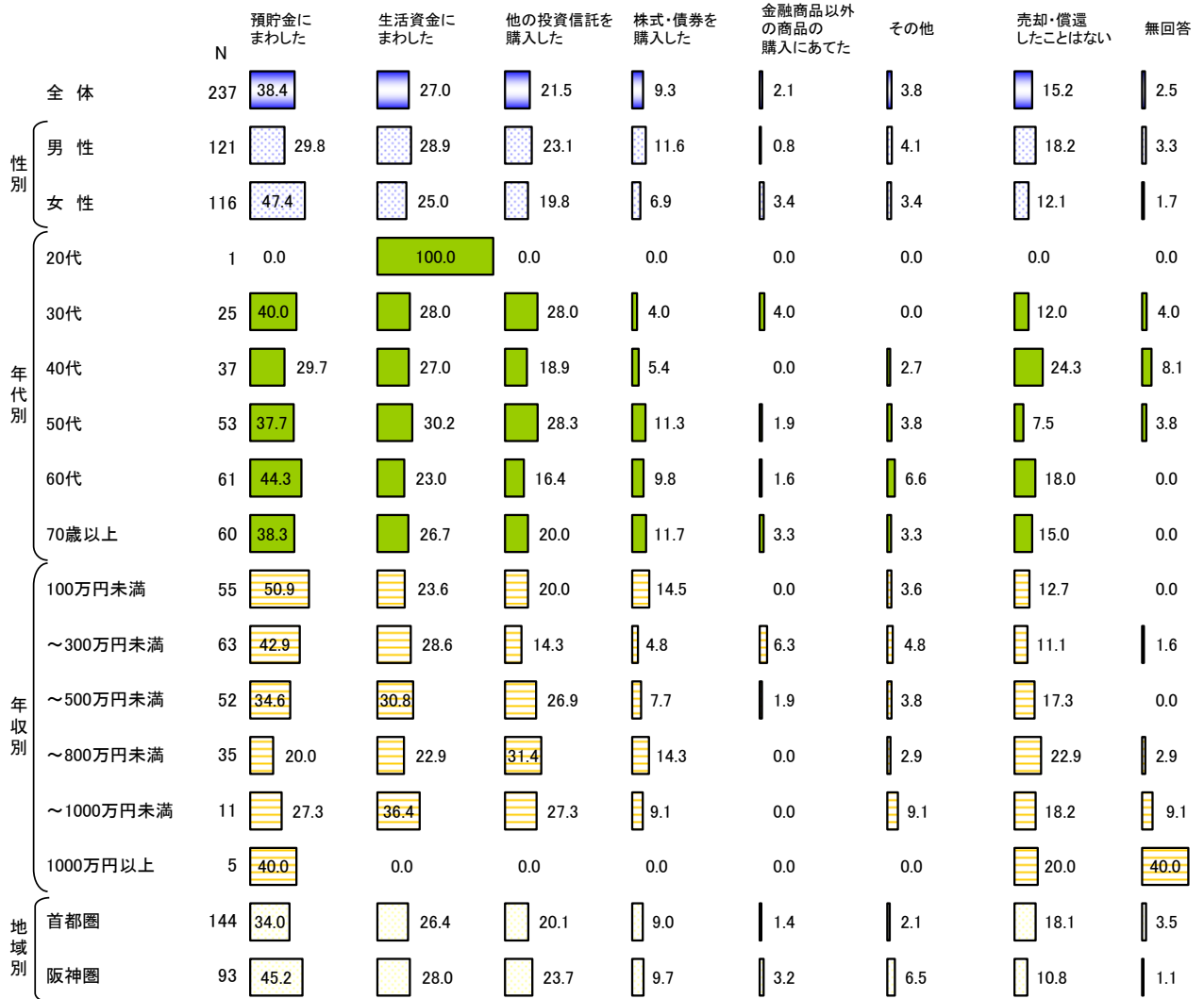
### 問17【償還・売却資金の流出先(重複回答)】時系列—現在保有層・保有経験層ベース



※ 平成25年調査より「売却・償還したことはない」を追加。

問 17 【償還・売却資金の流出先(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

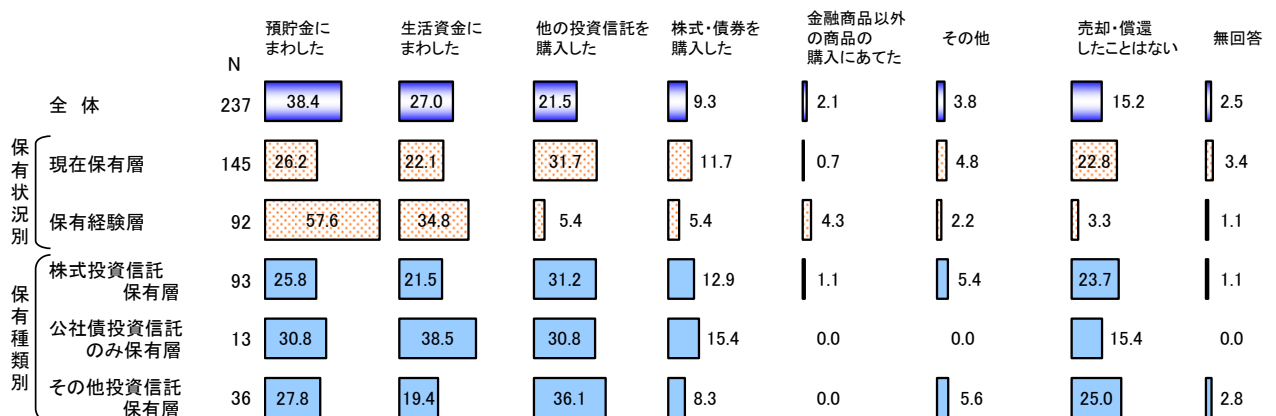
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 17 【償還・売却資金の流出先(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



## (10) 分配金の特徴認知状況

投資信託の『分配金』の特徴の認知率は、「運用成績によって変動する」が最も高く、83.5%と大半の人が知っている。「成績不良時には支払われない場合がある」(62.4%)や「決算ごとに支払われる」(48.9%)もほぼ半数以上が認知している。一方、「支払われた額だけ基準価額が下がる」は31.2%であり、他の項目に比べ認知されていない。

時系列でみると、「成績不良時には支払われない場合がある」の認知率は前回まで上昇していたが、今回は4.8ポイントとわずかながら低下している。また、「支払われた額だけ基準価額が下がる」は平成25年に12.2ポイント上昇し、今回も同程度となった。

対象者属性別でみると、性別では、男性は「支払われた額だけ基準価額が下がる」の認知率が女性より高く、他の項目の認知率も男性が女性をやや上回っている。

年代別にみると、40代は「成績不良時には支払われない場合がある」の認知率が他の層より高い。

年収別では、「～300万円未満」の層では「成績不良時には支払われない場合がある」の認知率が他の層より低い。

地域別では、首都圏は「決算ごとに支払われる」の認知率が阪神圏に比べ低い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「支払われた額だけ基準価額が下がる」の認知率が保有経験層を大きく上回っており、「運用成績によって変動する」「決算ごとに支払われる」もやや高く、現在保有層の方が『分配金』の多様な面について認知している。ただし、「成績不良時には支払われない場合がある」の認知率は保有経験層の方がやや高い。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層は「支払われた額だけ基準価額が下がる」の認知率がその他投資信託保有層に比べ高い。

問13【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

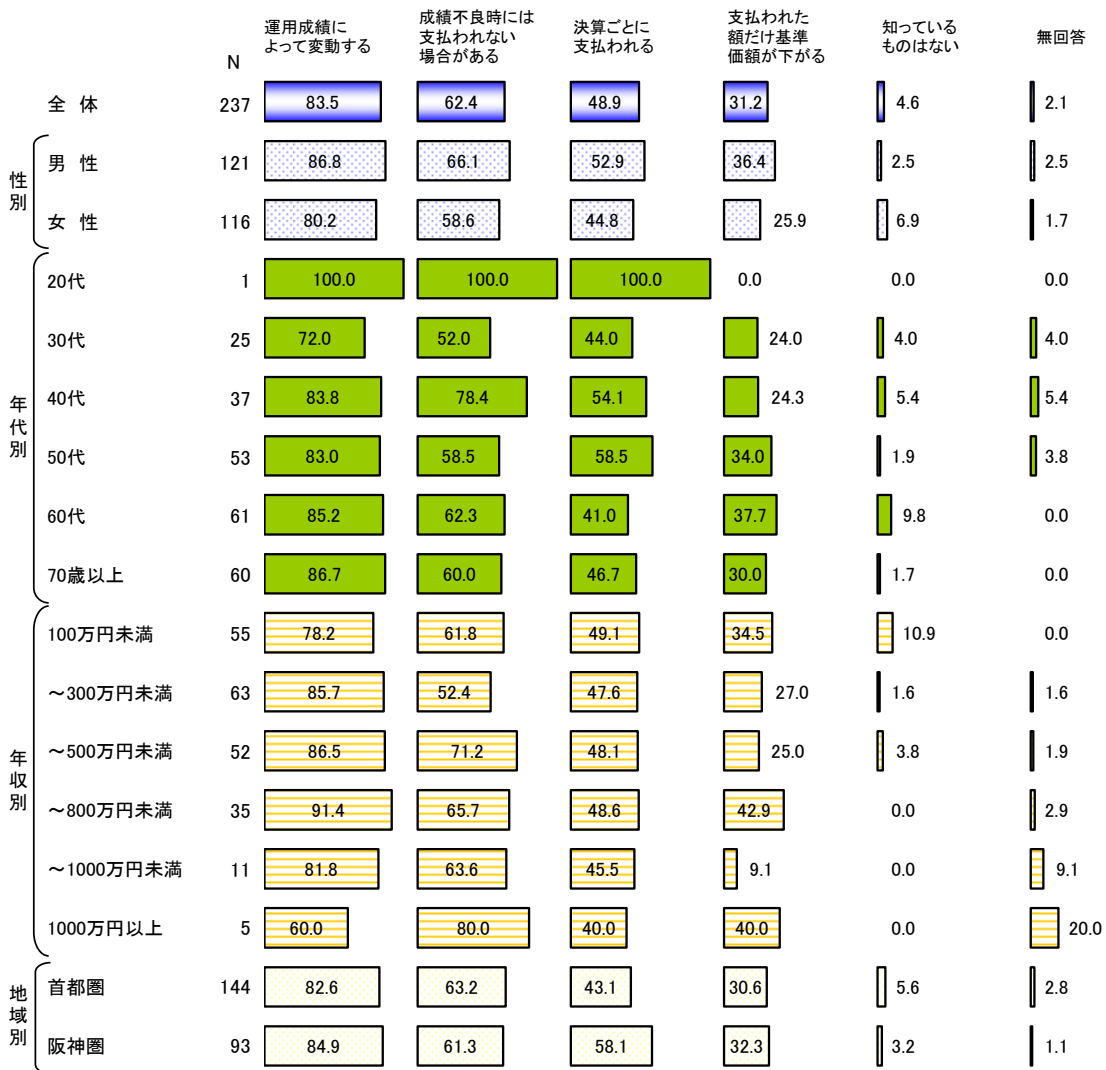
	N	運用成績によって変動する	成績不良時には支払われない場合がある	決算ごとに支払われる	支払われた額だけ基準価額が下がる	収益が出た場合は分配金が支払われる	毎月支払われる商品がある	知っているものはない	無回答
平成26年	237	83.5	62.4	48.9	31.2	-	-	4.6	2.1
平成25年	250	84.8	67.2	50.0	29.6	-	-	4.4	1.6
平成23年	241	82.2	58.5	46.9	17.4	-	-	7.1	1.7
平成22年	255	74.5	49.0	44.7	20.4	52.2	45.9	8.2	1.2

※ 平成23年より「収益が出た場合は分配金が支払われる」「毎月支払われる商品がある」を削除。

問 13 【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

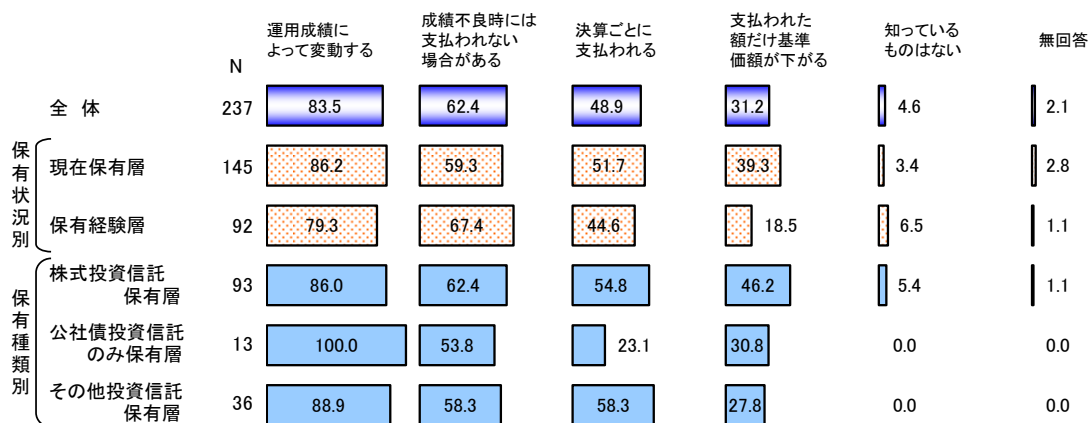
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 13 【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(11) 投資信託説明書(目論見書)閲読状況

①投資信託説明書(目論見書)閲読経験

投資信託説明書(目論見書)については、「全部読んだ」は6.8%と少ないながらも、「必要と思われる項目を読んだ」が32.9%であり、これらを合わせた“閲読率”は39.7%である。これに対し、「あまり読まなかった」は58.6%であり、半数以上がしっかりと読んでいない。

対象者属性別でみると、性別では、男性の方が“閲読率”は高い。

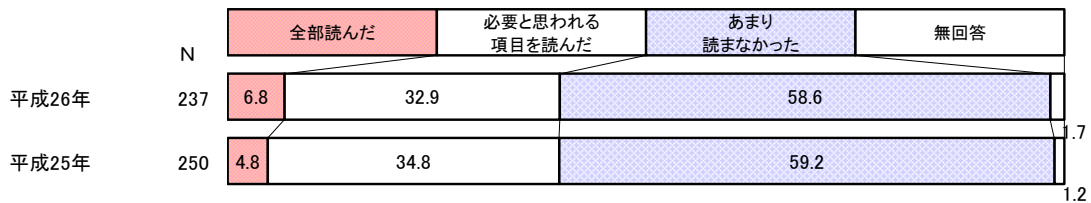
年代別では、“閲読率”は40代で最も高く、年代が上がるにつれ低くなり、60代が最も低い。ただし、70歳以上も40代に次いで高い。

年収別では、“閲読率”は「～300万円未満」の層で最も低く、年収が上がるにつれ高くなり、「～800万円未満」の層で最も高い。

地域別では、“閲読率”に大きな差はみられない。

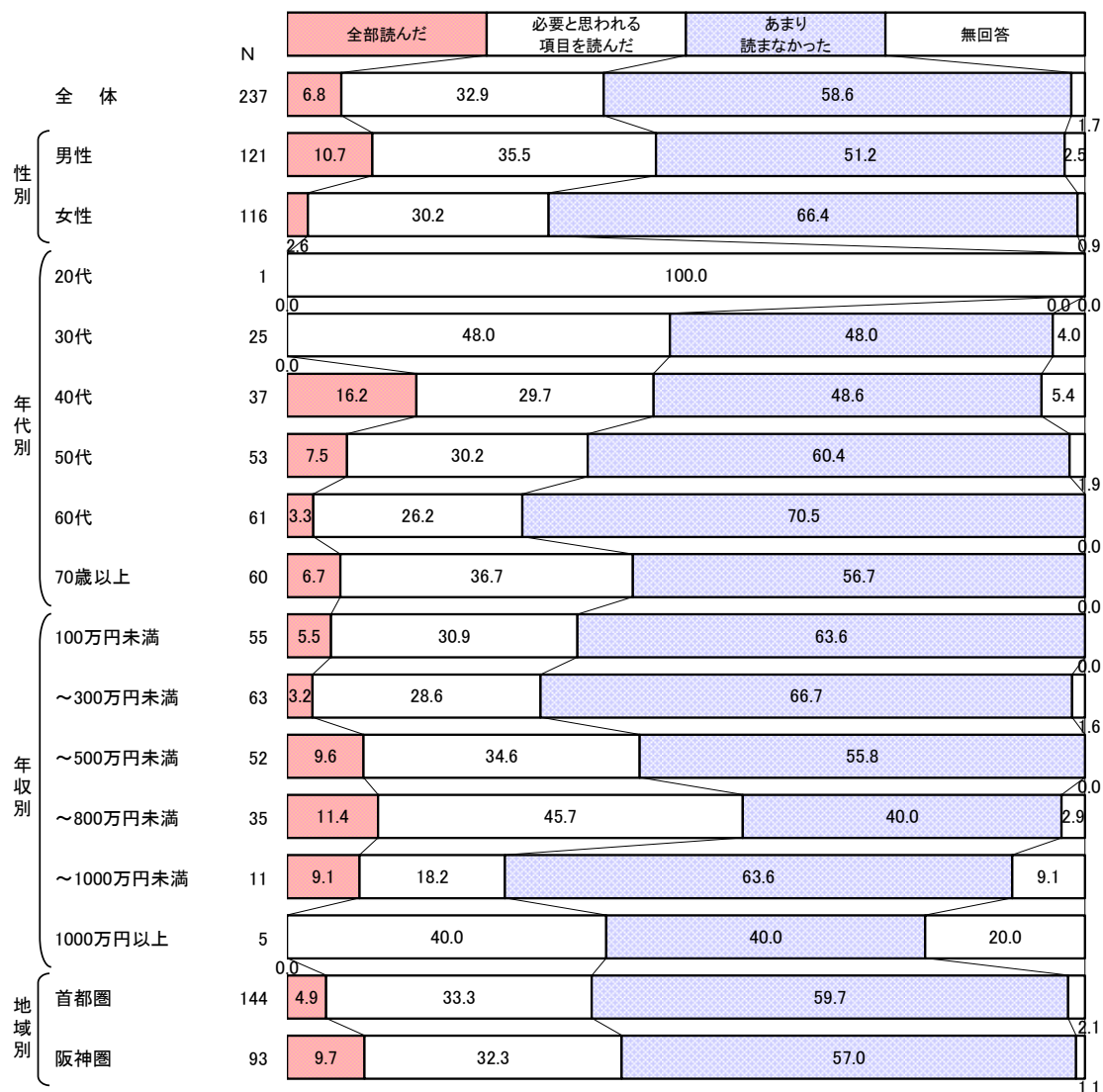
投資信託保有状況別、投資信託保有種類別ともに、“閲読率”に大きな差はみられない。

問 14【投資信託説明書閲読経験(単数回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



問 14【投資信託説明書閲読経験(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

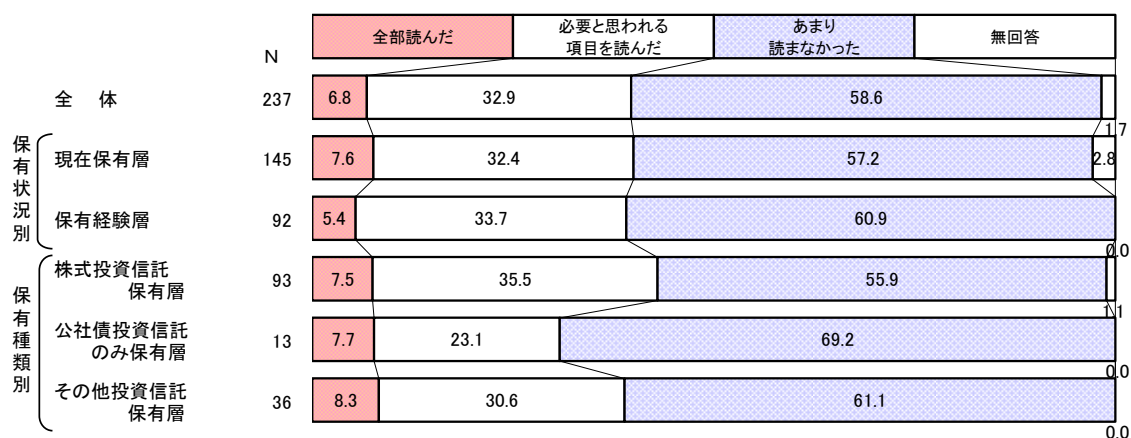
※N数(サンプル数)が少ないため、データをみる際に注意が必要。



問 14【投資信託説明書閲読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データをみる際に注意が必要。



②投資信託説明書(目論見書)の感想(現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書読読経験者)

投資信託説明書(目論見書)読読経験者にその感想を尋ねたところ、「内容が多すぎる」が73.4%で最も高く、「専門用語が多すぎてわかりにくい」(50.0%)、「重要な箇所がわからない」(29.8%)という意見も多い。「読みやすい・わかりやすい」とプラスに評価したのは9.6%のみである。

時系列で見ると、大きな変化はみられない。

対象者属性別については、性別では、女性は「専門用語が多すぎてわかりにくい」が男性より高い。

年代別と年収別はサンプル数が少ないため、コメントを割愛する。

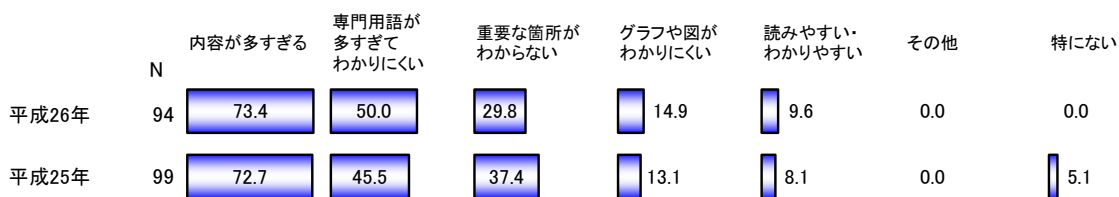
地域別では、首都圏は「専門用語が多すぎてわかりにくい」が阪神圏に比べやや高く、「読みやすい・わかりやすい」がやや低い。

投資信託保有状況別では、現在保有層は「内容が多すぎる」と感じる率が保有経験層よりやや高い。

投資信託保有種類別は、サンプル数が少ないため、コメントを割愛する。

問 14-1 【投資信託説明書の感想(重複回答)／時系列

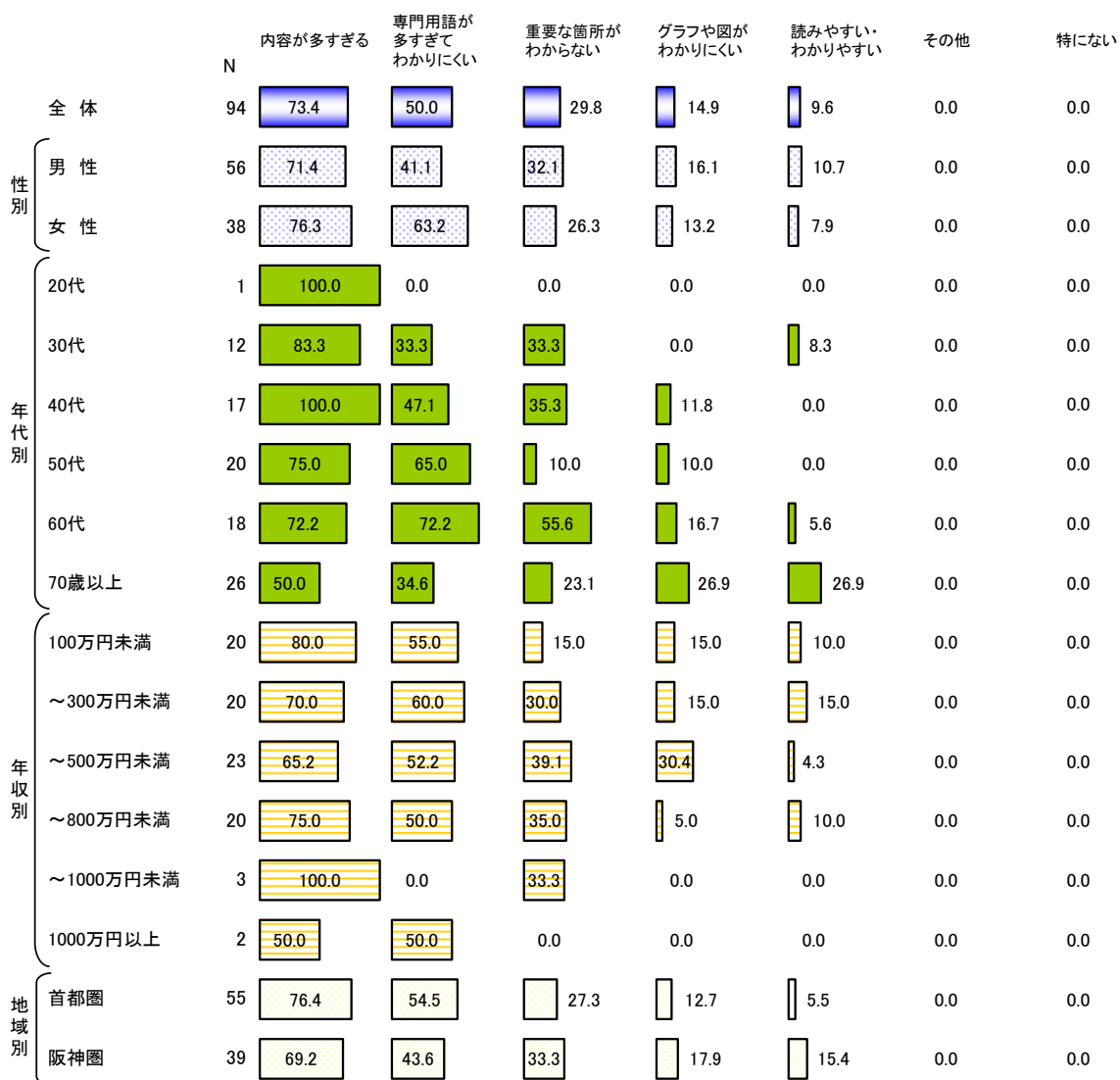
－現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書読読経験者ベース】



問 14-1 【投資信託説明書の感想(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書読経験者ベース】

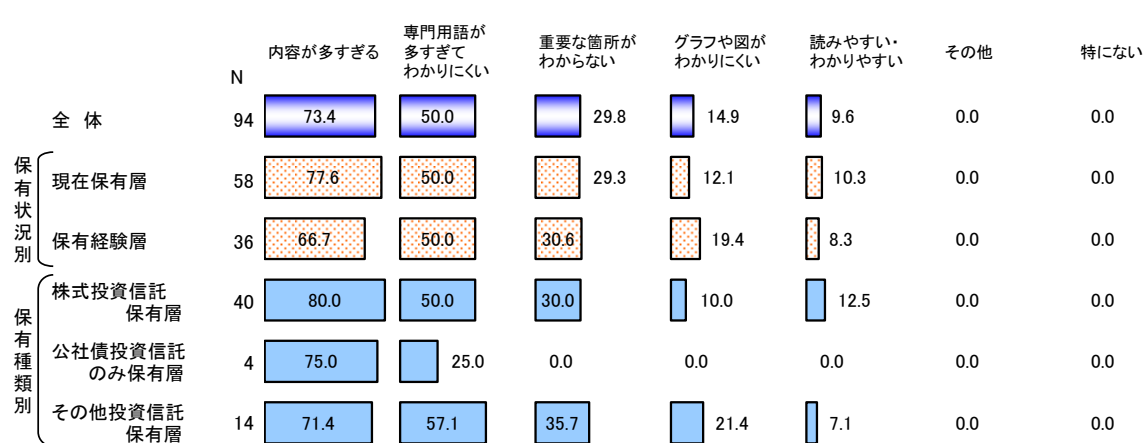
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 14-1 【投資信託説明書の感想(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書読経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。





(12) 運用報告書閲読状況

① 運用報告書閲読経験

運用報告書については、「全部読んだ」は4.6%と少ないながらも、「必要と思われる項目を読んだ」が53.6%であり、これらを合わせた“閲読経験率”は58.2%と半数を超える。とはいえ、「読んだことはない」が38.8%であり、目を通していない人も多い。

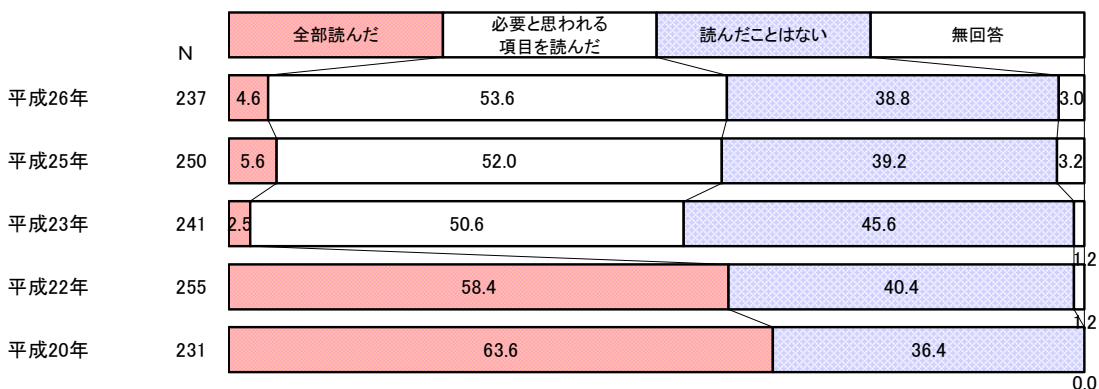
時系列では項目が変わったため、平成22年以前の“閲読経験率(「読んだことがある」のみ)”と平成23年以降の“閲読経験率(「全部読んだ」と「必要と思われる項目を読んだ」の和)”を比べると、平成20年から平成23年まで下降傾向がみられていたが、その後上昇に転じ、今回は前回と同程度を維持している。

対象者属性別でみると、性別、年代別、年収別、地域別ともに“閲読経験率”に大きな差はみられない。

投資信託保有状況別でも、現在保有層と保有経験層の“閲読経験率”に大きな差はみられない。

投資信託保有種類別では、“閲読経験率”は株式投資信託保有層の方がその他投資信託保有層より低い。

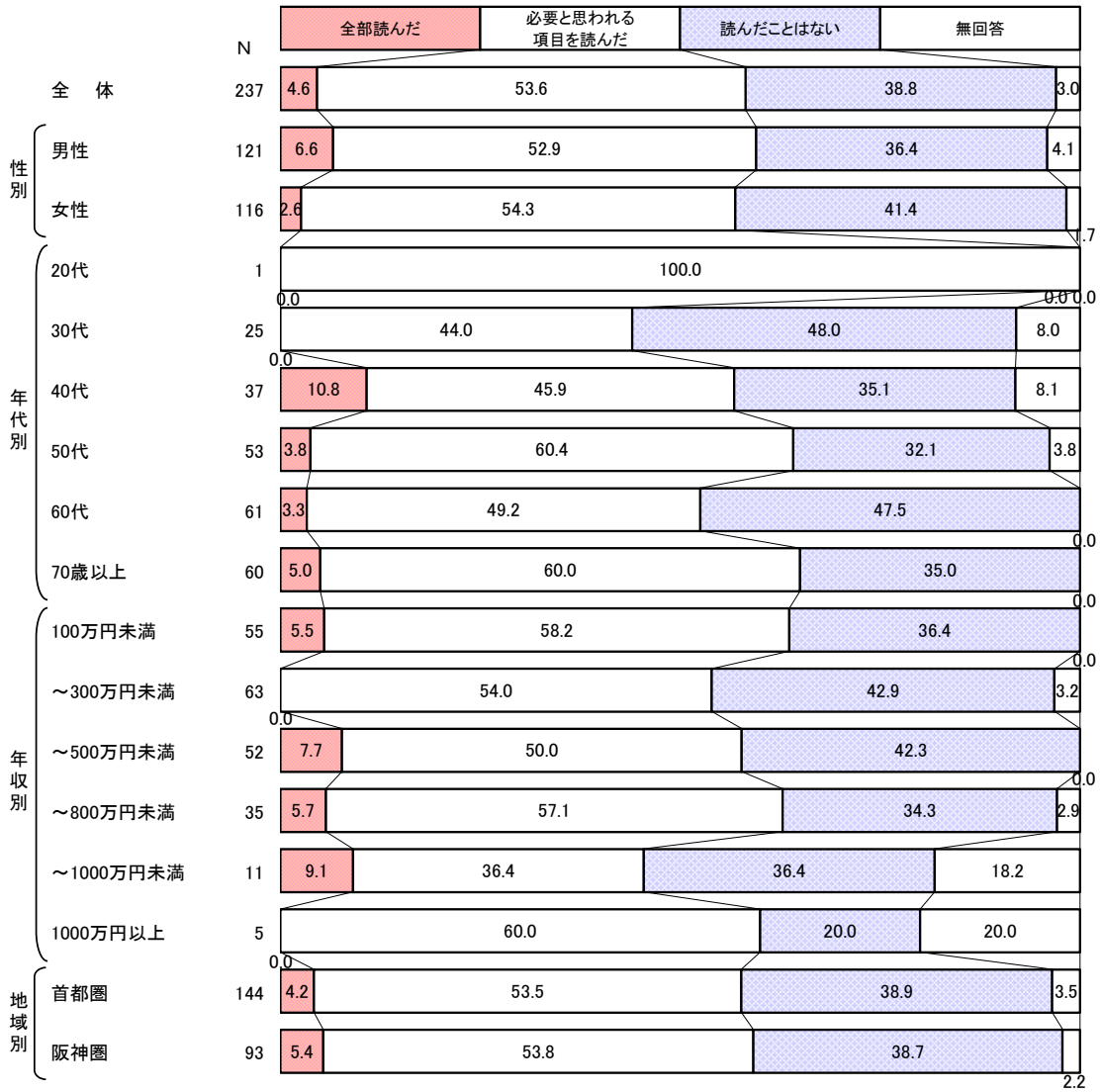
問 15 【運用報告書閲読経験(単数回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース



※ 平成23年より「必要と思われる項目を読んだ」を追加。  
「全部読んだ」は、平成22年以前は「読んだことがある」で調査。

問 15 【運用報告書閲読経験(単数回答)／対象者属性別－現在保有層・保有経験層ベース】

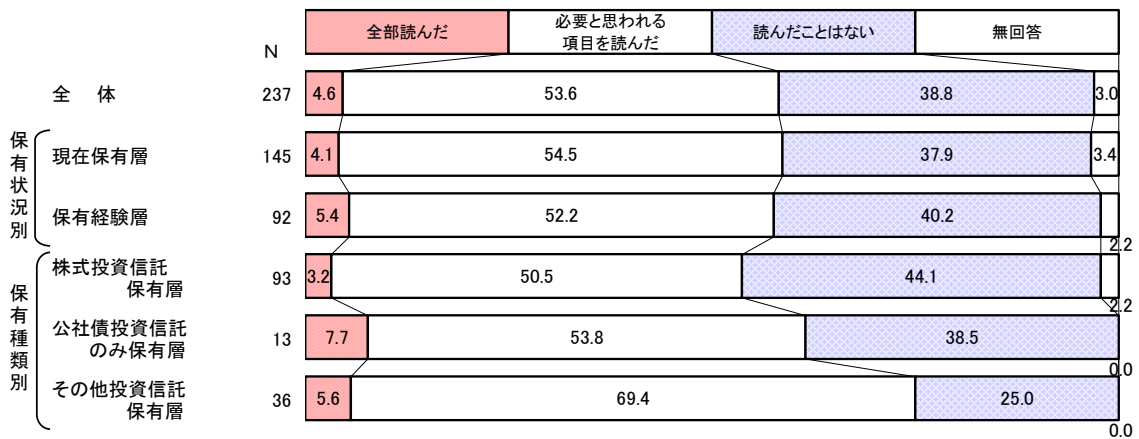
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 15 【運用報告書閲読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



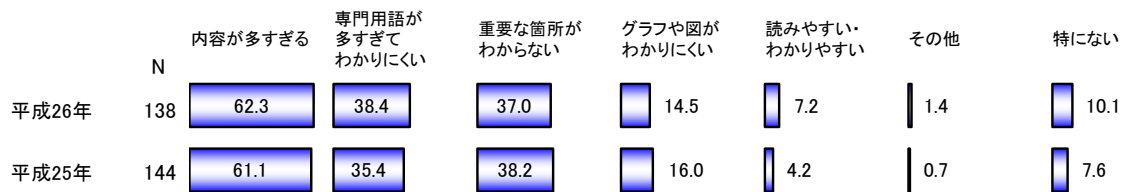
②運用報告書の感想(現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者)

運用報告書閲覧経験者にその感想を尋ねたところ、「内容が多すぎる」が62.3%で最も高く、「専門用語が多すぎてわかりにくい」(38.4%)と「重要な箇所がわからない」(37.0%)が同程度で並ぶ。「読みやすい・わかりやすい」とプラスに評価したのは7.2%と少ない。

対象者属性別については、性別、年代別、年収別、地域別ともに、大きな差はみられない。投資信託保有状況別では、現在保有層は「内容が多すぎる」と感じる率が保有経験層より高い。投資信託保有種類別は、サンプル数が少ないため、コメントを割愛する。

問 15-1 【運用報告書の感想(重複回答)／時系列

—現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース】



問 15-1 【運用報告書の感想(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース】

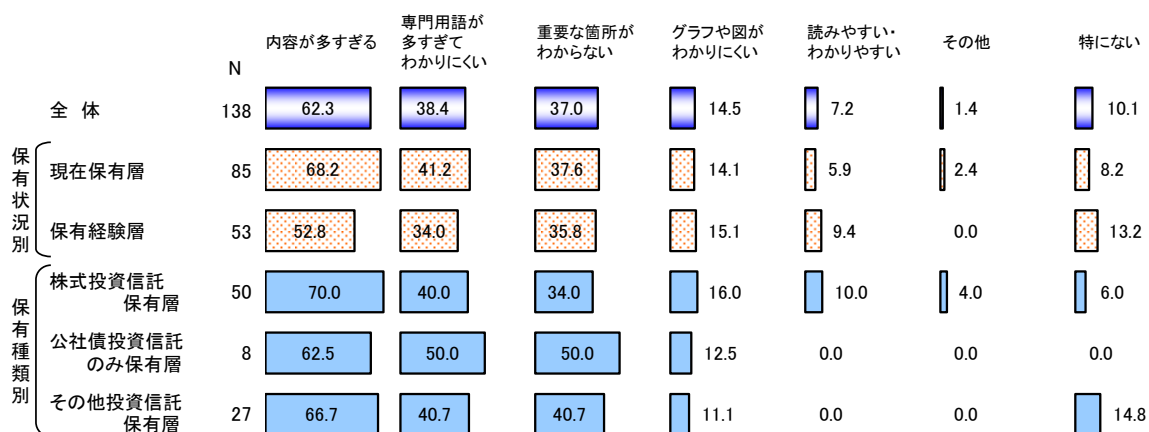
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 15-1 【運用報告書の感想(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(13) 評価会社による運用評価の認知・利用状況

評価会社による運用評価については、「評価会社の評価を参考に購入したことがある」は5.9%にとどまるが、「評価会社の評価を見たことがある」は37.6%であり、両者を合わせた“認知率”は43.5%である。一方、「評価会社があること自体知らなかった」は54.0%と過半数を占め、“認知率”を上回っている。

時系列でみると、“認知率”は前回に比べ7.3ポイント低くなったが、前回は前々回より6.8ポイント高かったため、前々回以前のレベルに戻っている。

対象者属性別でみると、性別では、“認知率”は男性の方が高い。

年代別では、60代の“認知率”は他の層に比べ低い。

年収別と地域別では、“認知率”に大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、“認知率”は現在保有層の方が保有経験層より高い。

投資信託保有種類別では、“認知率”は株式投資信託保有層の方がその他投資信託保有層よりやや高い。

問 18 【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)】時系列

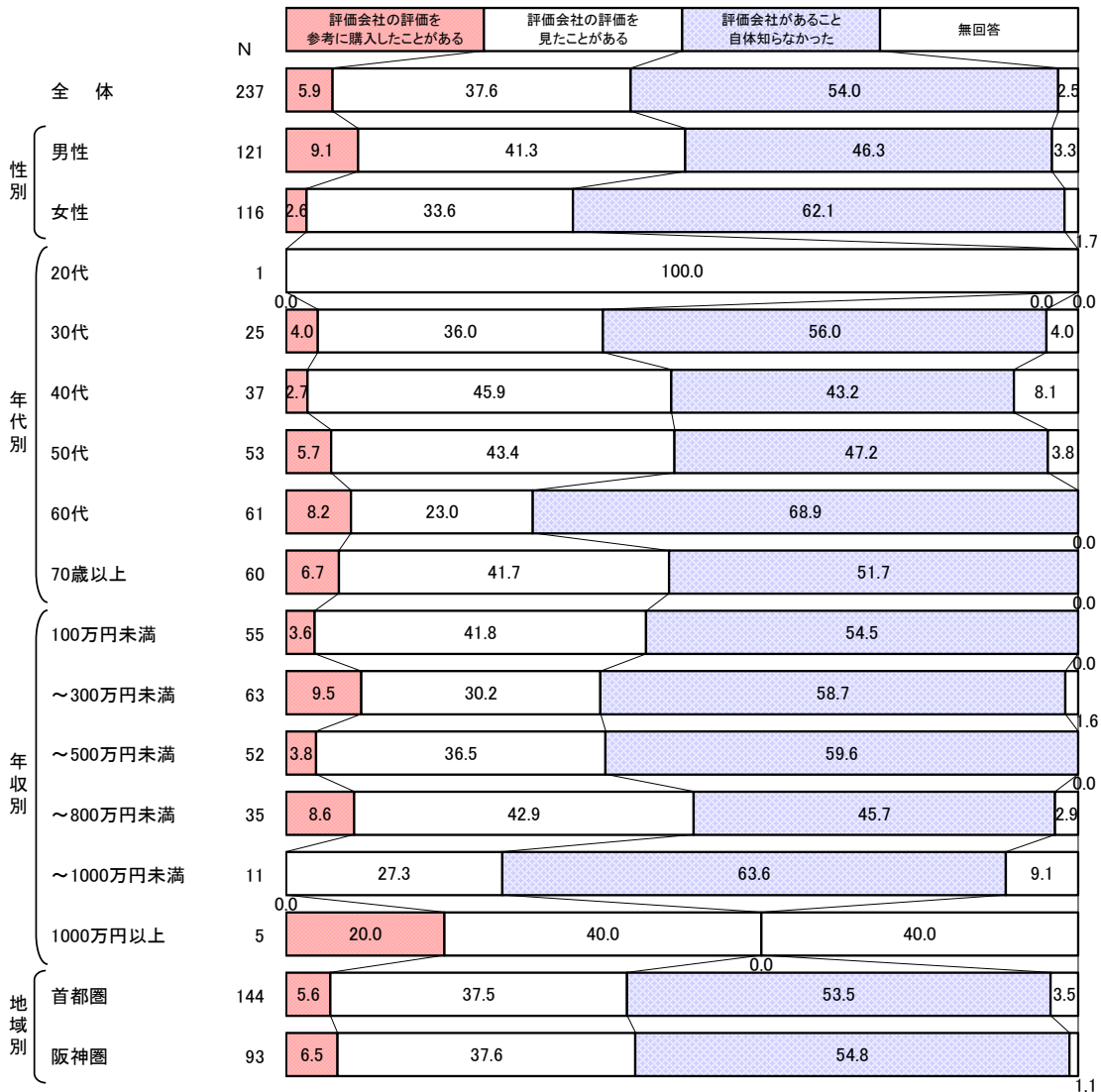
—現在保有層・保有経験層ベース

N	評価会社の評価を参考に購入したことがある	評価会社の評価を見たことがある	評価会社があること自体知らなかった	無回答
平成26年 237	5.9	37.6	54.0	2.5
平成25年 250	6.0	44.8	47.6	1.6
平成23年 241	6.2	37.8	53.1	2.9
平成22年 255	7.5	39.2	51.0	2.4
平成20年 231	3.9	39.4	55.4	1.3

問 18【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

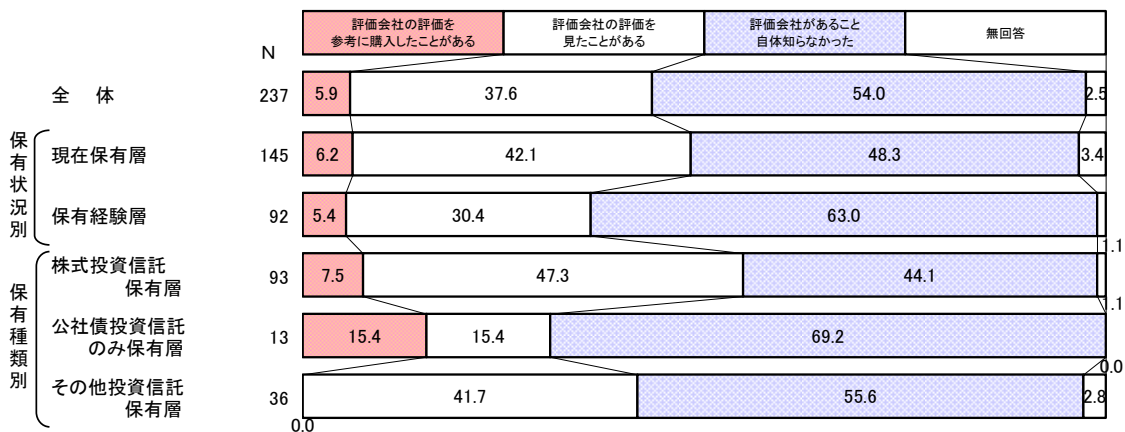
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 18【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(14) 投資信託会社のホームページ利用経験

投資信託等の情報を得るために投資信託会社のホームページを「よく利用する」のは 3.8%、「たまに利用する」は 20.7%であり、両者を合わせた“HP利用率”は 24.5%である。一方、「利用したことはない」は 73.0%と大半を占める。

時系列でみると、前回まで“HP利用率”の上昇傾向がみられたが、今回は前回と同程度で足踏み状態となっている。

対象者属性別でみると、性別では、“HP利用率”は男性の方が高い。

年代別でみると“HP利用率”は若年層ほど高く、40代では40%近くを占めるが、60代以上では約15%にとどまる。

年収別では、“HP利用率”は“500万円未満”の各層では20%以下で大きな差はみられないが、「～800万円未満」の層は40%台と特に高い。

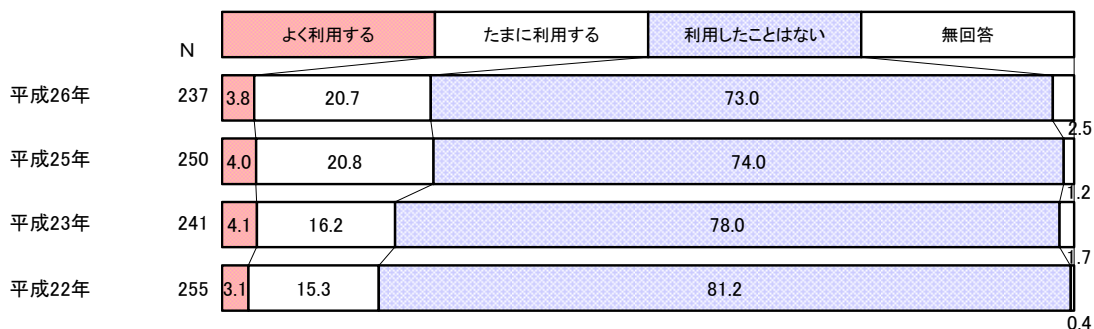
地域別では、“HP利用率”に大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、“HP利用率”は現在保有層の方が保有経験層より高い。

投資信託保有種類別では、“HP利用率”は株式投資信託保有層の方がその他投資信託保有層よりやや高い。

問 19 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／時系列

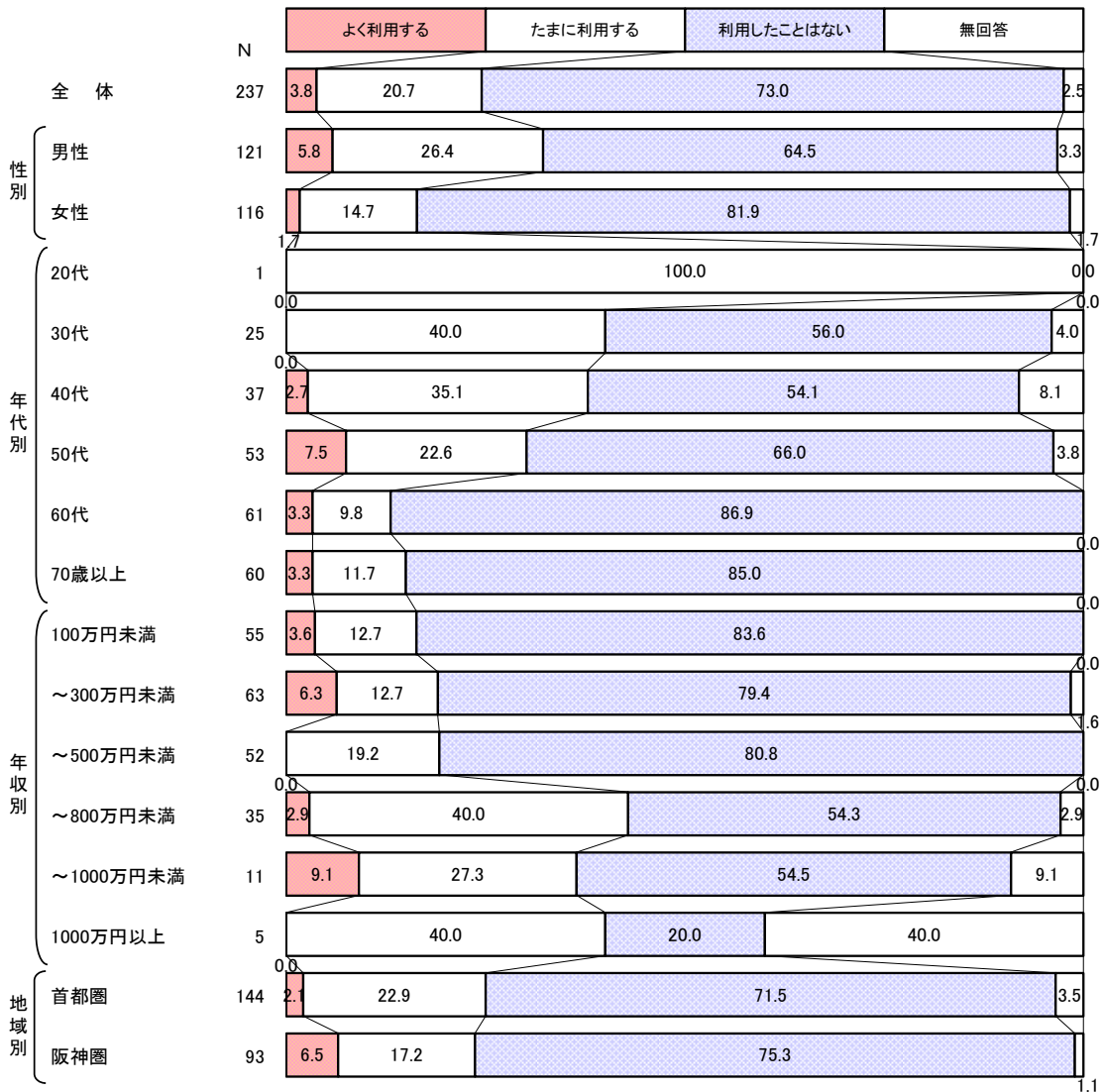
－現在保有層・保有経験層ベース】



問 19【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

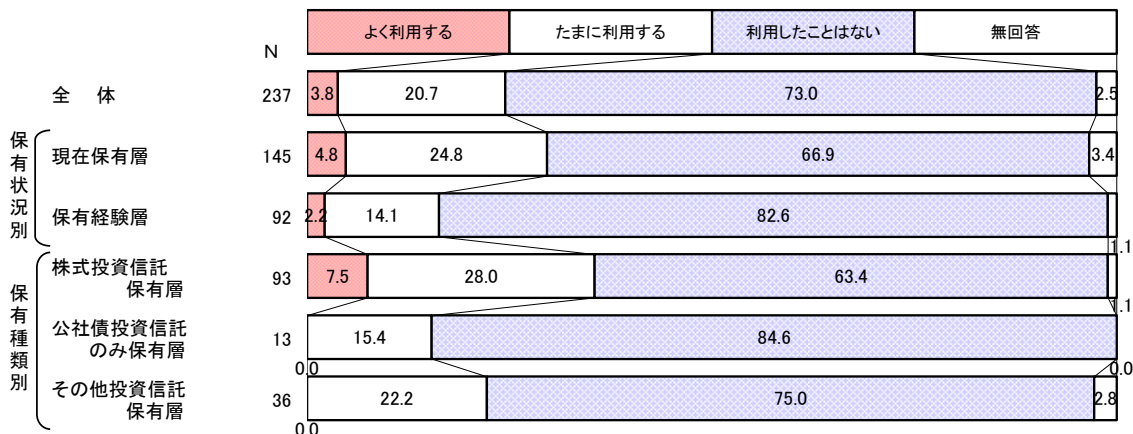
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 19【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。





## (15) 投資信託の優れていると感じる点

他の金融商品と比較して投資信託が優れていると感じる点(重複回答)は、「専門知識がなくても投資ができる」(45.6%)と「定期的に分配金が受け取れる」(43.9%)が同程度で高い。次いで「比較的高い利回りが期待できる」(35.9%)、「少額でも分散投資ができる」(34.2%)、「少額でも株式投資の面白味がある」(32.9%)の3項目が同程度で並ぶ。

時系列でみると、「比較的高い利回りが期待できる」は前回10.0ポイント高くなったが、今回は7.7ポイント低くなり、前々回以前のレベルに戻った。一方、「少額でも分散投資ができる」は前回より8.2ポイント高くなった。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「少額でも分散投資ができる」「少額でも株式投資の面白味がある」「海外投資が手軽にできる」が高く、「種類が豊富で目的に応じたものが選べる」「専門知識がなくても投資ができる」も女性よりやや高く、多様な点を評価している。女性では「よくわからない」がやや高い。

年代別では、「専門知識がなくても投資ができる」は50代でやや低い。「定期的に分配金が受け取れる」は年代が上がるにつれやや高くなる傾向がみられる。

年収別でみると、「～800万円未満」の層では「少額でも分散投資ができる」「種類が豊富で目的に応じたものが選べる」など多様な点を優位点として評価している。

地域別では、首都圏は「専門知識がなくても投資ができる」「少額でも分散投資ができる」が高いが、「定期的に分配金が受け取れる」は低い。

投資信託保有状況別でみると、「比較的高い利回りが期待できる」は現在保有層が保有経験層を大きく上回っており、「定期的に分配金が受け取れる」「海外投資が手軽にできる」も現在保有層の方がやや高く、多様な点を評価している。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層に比べ、「定期的に分配金が受け取れる」がやや低いが、「購入手続きが簡単である」は高い。

投資信託が優れていると感じる点のうち、特に魅力を感じる点(単数回答)としては、「比較的高い利回りが期待できる」(17.3%)と「専門知識がなくても投資ができる」(16.9%)が同程度で高く、次いで「定期的に分配金が受け取れる」(14.8%)が高い。

時系列でみると、「定期的に分配金が受け取れる」は、平成22年以降段階的に低下して、僅差ながら、前回までのトップから第3位に下がった。

対象者属性別にみると、性別では、女性は「よくわからない」が高く、「少額でも分散投資ができる」は男性の方が高い。

年代別では、大きな差はみられない。

年収別では、「100万円未満」の層では「比較的高い利回りが期待できる」が他の層より高い。「～300万円未満」と「～500万円未満」の層では「比較的高い利回りが期待できる」より「専門知識がなくても投資ができる」の方が高く、トップとなっている。「～800万円未満」の層では「少額でも分散投資ができる」がトップである。

地域別では、阪神圏は「定期的に分配金が受け取れる」が高く、トップ項目となっている。

投資信託保有状況別では、保有経験層は「専門知識がなくても投資ができる」がトップだが、「よくわからない」も現在保有層よりやや高い。現在保有層は「比較的高い利回りが期待できる」が高い。

投資信託保有種類別では、大きな差はみられない。

問 20①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

	N	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金を受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも分散投資ができる	少額でも株式投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものを選べる	積立て投資ができる	海外投資が手軽にできる	分配金が自動的に複利に回る商品がある	その他	よくわからない	無回答
平成26年	237	45.6	43.9	35.9	34.2	32.9	24.9	19.0	17.7	17.3	13.1	0.8	9.7	1.3
平成25年	250	48.4	45.2	43.6	26.0	33.2	27.6	22.4	16.8	17.6	12.4	0.8	8.8	1.6
平成23年	241	40.2	43.6	33.6	28.2	29.0	26.6	13.7	15.4	17.4	14.5	0.4	14.1	2.1
平成22年	255	43.9	46.3	35.3	-	35.7	27.1	25.9	21.6	20.0	16.9	1.2	12.5	1.2
平成20年	231	52.4	48.9	45.5	-	34.2	32.9	19.9	18.6	18.6	14.7	1.3	6.9	0.9

※ 平成23年より「少額でも分散投資ができる」を追加。

問 20①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金を受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも分散投資ができる	少額でも株式投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものを選べる	積立て投資ができる	海外投資が手軽にできる	分配金が自動的に複利に回る商品がある	その他	よくわからない	無回答
全体	237	45.6	43.9	35.9	34.2	32.9	24.9	19.0	17.7	17.3	13.1	0.8	9.7	1.3
性別														
男性	121	47.9	43.8	35.5	43.8	39.7	24.8	23.1	19.0	22.3	12.4	1.7	5.8	1.7
女性	116	43.1	44.0	36.2	24.1	25.9	25.0	14.7	16.4	12.1	13.8	0.0	13.8	0.9
年代別														
20代	1	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	60.0	20.0	40.0	48.0	48.0	24.0	36.0	20.0	20.0	16.0	0.0	8.0	4.0
40代	37	43.2	40.5	32.4	45.9	27.0	24.3	21.6	16.2	16.2	10.8	2.7	8.1	5.4
50代	53	34.0	43.4	39.6	34.0	28.3	24.5	18.9	22.6	13.2	17.0	0.0	5.7	0.0
60代	61	45.9	47.5	37.7	23.0	27.9	23.0	13.1	11.5	14.8	13.1	0.0	16.4	0.0
70歳以上	60	50.0	51.7	31.7	31.7	38.3	26.7	16.7	18.3	21.7	10.0	1.7	8.3	0.0
年収別														
100万円未満	55	43.6	38.2	45.5	30.9	29.1	27.3	16.4	14.5	12.7	16.4	0.0	14.5	0.0
～300万円未満	63	42.9	49.2	33.3	19.0	33.3	25.4	19.0	9.5	20.6	14.3	0.0	9.5	1.6
～500万円未満	52	42.3	36.5	26.9	40.4	32.7	23.1	13.5	15.4	11.5	1.9	1.9	15.4	0.0
～800万円未満	35	60.0	42.9	37.1	57.1	42.9	31.4	34.3	31.4	20.0	20.0	0.0	2.9	2.9
～1000万円未満	11	54.5	36.4	18.2	45.5	27.3	0.0	27.3	27.3	27.3	18.2	9.1	0.0	9.1
1000万円以上	5	40.0	60.0	100.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別														
首都圏	144	50.7	37.5	36.1	38.2	35.4	23.6	18.8	20.1	15.3	12.5	0.0	9.0	1.4
阪神圏	93	37.6	53.8	35.5	28.0	29.0	26.9	19.4	14.0	20.4	14.0	2.2	10.8	1.1

問 20①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金を受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも分散投資ができる	少額でも株式投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	種類が豊富で目的に応じたものを選べる	積立て投資ができる	海外投資が手軽にできる	分配金が自動的に複利に回る商品がある	その他	よくわからない	無回答
全体	237	45.6	43.9	35.9	34.2	32.9	24.9	19.0	17.7	17.3	13.1	0.8	9.7	1.3
保有状況別														
現在保有層	145	48.3	47.6	47.6	36.6	32.4	25.5	19.3	15.9	20.7	14.5	1.4	7.6	2.1
保有経験層	92	41.3	38.0	17.4	30.4	33.7	23.9	18.5	20.7	12.0	10.9	0.0	13.0	0.0
保有種類別														
株式投資信託保有層	93	51.6	46.2	48.4	38.7	36.6	31.2	19.4	18.3	23.7	15.1	1.1	5.4	0.0
公社債投資信託のみ保有層	13	46.2	30.8	38.5	23.1	15.4	23.1	7.7	15.4	0.0	15.4	7.7	30.8	0.0
その他投資信託保有層	36	44.4	61.1	52.8	38.9	30.6	13.9	25.0	11.1	22.2	13.9	0.0	5.6	0.0

問 20②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1つだけ

	N	比較的高い 利回りが 期待できる	専門知識が なくても 投資が できる	定期的な 配分金が 受け取れる	少額でも 分散投資が できる	少額でも 株式投資の 面白味がある	積立 投資が できる	海外投資が 手軽に できる	配分金が 自動的に 複利に回る 商品がある	購入手続き が簡単で ある	種類が豊富 で目的に 応じたもの が選べる	その他	よく わからない	無回答
平成26年	237	17.3	16.9	14.8	8.9	8.4	5.1	3.8	3.0	3.0	2.5	0.8	13.1	2.5
平成25年	250	18.0	15.6	19.2	5.6	10.4	4.0	4.8	0.4	2.8	5.6	0.8	9.2	3.6
平成23年	241	19.9	9.5	19.1	8.3	10.8	2.9	4.1	3.3	2.5	2.9	0.4	13.7	2.5
平成22年	255	16.5	11.0	25.5	-	11.8	5.5	2.7	2.0	4.3	4.3	0.0	14.1	2.4
平成20年	231	19.0	13.4	23.3	-	12.6	4.3	4.8	2.6	4.8	3.0	0.9	8.2	2.6

※ 平成23年より「少額でも分散投資ができる」を追加。

問 20②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	比較的高い 利回りが 期待できる	専門知識が なくても 投資が できる	定期的な 配分金が 受け取れる	少額でも 分散投資が できる	少額でも 株式投資の 面白味がある	積立 投資が できる	海外投資が 手軽に できる	配分金が 自動的に 複利に回る 商品がある	購入手続き が簡単で ある	種類が豊富 で目的に 応じたもの が選べる	その他	よく わからない	無回答
全体	237	17.3	16.9	14.8	8.9	8.4	5.1	3.8	3.0	3.0	2.5	0.8	13.1	2.5
性別														
男性	121	16.5	13.2	14.9	13.2	8.3	6.6	5.0	0.8	5.0	5.0	1.7	7.4	2.5
女性	116	18.1	20.7	14.7	4.3	8.6	3.4	2.6	5.2	0.9	0.0	0.0	19.0	2.6
年代別														
20代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	20.0	20.0	4.0	20.0	16.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	8.0	4.0
40代	37	10.8	18.9	16.2	8.1	8.1	5.4	2.7	0.0	10.8	0.0	2.7	8.1	8.1
50代	53	24.5	13.2	13.2	7.5	7.5	5.7	3.8	5.7	1.9	3.8	0.0	11.3	1.9
60代	61	16.4	13.1	19.7	4.9	9.8	6.6	1.6	3.3	1.6	3.3	0.0	18.0	1.6
70歳以上	60	15.0	21.7	15.0	10.0	5.0	5.0	5.0	3.3	0.0	3.3	1.7	15.0	0.0
年収別														
100万円未満	55	27.3	16.4	14.5	3.6	1.8	5.5	1.8	7.3	0.0	1.8	0.0	20.0	0.0
～300万円未満	63	12.7	23.8	14.3	4.8	11.1	0.0	4.8	3.2	3.2	3.2	0.0	17.5	1.6
～500万円未満	52	11.5	23.1	11.5	9.6	11.5	5.8	0.0	5.8	3.8	1.9	1.9	15.4	0.0
～800万円未満	35	17.1	0.0	17.1	25.7	8.6	11.4	2.9	2.9	5.7	2.9	0.0	2.9	2.9
～1000万円未満	11	0.0	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
1000万円以上	5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
地域別														
首都圏	144	18.1	18.1	11.8	11.1	7.6	5.6	4.2	2.1	3.5	2.8	0.0	12.5	2.8
阪神圏	93	16.1	15.1	19.4	5.4	9.7	4.3	3.2	4.3	2.2	2.2	2.2	14.0	2.2

問 20②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	比較的高い 利回りが 期待できる	専門知識が なくても 投資が できる	定期的な 配分金が 受け取れる	少額でも 分散投資が できる	少額でも 株式投資の 面白味がある	積立 投資が できる	海外投資が 手軽に できる	配分金が 自動的に 複利に回る 商品がある	購入手続き が簡単で ある	種類が豊富 で目的に 応じたもの が選べる	その他	よく わからない	無回答
全体	237	17.3	16.9	14.8	8.9	8.4	5.1	3.8	3.0	3.0	2.5	0.8	13.1	2.5
保有状況別														
現在保有層	145	22.1	13.8	13.8	11.0	6.2	4.1	4.8	3.4	4.1	2.1	1.4	9.7	3.4
保有経験層	92	9.8	21.7	16.3	5.4	12.0	6.5	2.2	2.2	1.1	3.3	0.0	18.5	1.1
保有種類別														
株式投資信託 保有層	93	20.4	15.1	15.1	14.0	4.3	5.4	6.5	3.2	4.3	3.2	1.1	7.5	0.0
公社債投資信託 のみ保有層	13	23.1	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	30.8	0.0
その他投資信託 保有層	36	27.8	11.1	16.7	8.3	11.1	2.8	2.8	2.8	2.8	0.0	0.0	8.3	5.6

## (16) 投資信託の不満を感じる点

### ①対象者属性別・保有状況別の不満を感じる点

投資信託の不満を感じる点(重複回答)は、「元本保証がない」が最も高く、60.3%と過半数があげている。「手数料が高い」も45.1%と半数近い。以下、「運用実績がわかりにくい」(30.8%)、「公社債に比べて安心できない」(23.2%)、「購入後の運用に関する情報が少ない」(22.8%)、「種類が多く選択に迷う」(20.7%)の順に続く。

時系列でみると、「手数料が高い」は平成22年以降わずかに上昇傾向がみられる。一方、「運用実績がわかりにくい」は同年以降わずかながら低下傾向だったが、今回は前回より5.6ポイントとやや高くなっている。「公社債に比べて安心できない」と「株式に比べて面白さに欠ける」はともに前は高かった(順に6.7ポイント、5.4ポイント)が、今回は低くなり(7.6ポイント、5.2ポイント)、前々回以前のレベルに戻った。

対象者属性別でみると、性別では、男性は「購入後の運用に関する情報が少ない」「株式に比べて面白さに欠ける」「利回りがものたりない」という不満が女性より高い。女性は「よくわからない」が高く、「元本保証がない」もやや高い。

年代別では、大きな差はみられない。

年収別では、「～500万円未満」の層では「購入後の運用に関する情報が少ない」が他の層より高く、「～800万円未満」の層では「元本保証がない」が低い。

地域別では、阪神圏は「運用実績がわかりにくい」が首都圏に比べやや低い。

投資信託保有状況別については、現在保有層は「手数料が高い」「運用実績がわかりにくい」「種類が多く選択に迷う」といった不満が保有経験層より高い。保有経験層は「なんとなくなじめない」がやや高く、「よくわからない」も高い。

投資信託保有種類別でみると、株式投資信託保有層は「運用実績がわかりにくい」がその他投資信託保有層に比べて高い。

投資信託の不満を感じる点のうち、特に不満を感じる点(単数回答)でも「元本保証がない」が32.5%を占め、特に高い。次いで「手数料が高い」(19.0%)、「運用実績がわかりにくい」(11.4%)が高いが、それ以外の項目は10%に満たない。

時系列でみると、「元本保証はない」が前回より5.5ポイント低くなった。一方、「手数料が高い」は同設問の重複回答と同様に平成22年以降上昇傾向がみられる。「運用実績がわかりにくい」も前回より6.2ポイント高くなった。

対象者属性別についてみると、性別では、女性は「よくわからない」が高く、「元本保証がない」もやや高い。男性は「手数料が高い」がやや高く、「元本保証がない」との差が小さい。

年代別では、60代は「元本保証がない」が高く、「手数料が高い」は低い。

年収別でみると、年収が高いほど「元本保証がない」が低くなる傾向がみられる。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別については、現在保有層は「手数料が高い」「運用実績がわかりにくい」が保有経験層に比べ高い。保有経験層は「元本保証がない」が現在保有層に比べてやや高く、「よくわからない」も高い。

投資信託保有種類別でみると、大きな差はみられない。

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	購入後の運用に関する情報が少ない	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	近くに証券会社銀行等の店舗がない	クローズド期間がある	その他	よくわからない	無回答
平成26年	237	60.3	45.1	30.8	23.2	22.8	20.7	15.6	12.7	8.9	7.6	5.1	4.6	2.5	9.3	1.3
平成25年	250	62.8	43.6	25.2	30.8	21.2	22.8	20.8	16.0	7.2	7.2	3.6	4.8	1.6	5.6	1.6
平成23年	241	60.6	39.8	28.2	24.1	16.6	20.3	15.4	16.2	12.0	7.1	4.1	5.8	2.5	7.9	2.1
平成22年	255	59.6	37.6	32.5	25.5	16.1	18.8	16.1	19.6	12.2	8.2	6.3	5.1	2.4	9.0	2.7
平成20年	231	62.8	42.4	32.5	26.8	17.3	20.8	17.7	21.2	6.9	5.6	5.6	4.3	3.0	6.1	1.3

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	購入後の運用に関する情報が少ない	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	近くに証券会社銀行等の店舗がない	クローズド期間がある	その他	よくわからない	無回答
全体	237	60.3	45.1	30.8	23.2	22.8	20.7	15.6	12.7	8.9	7.6	5.1	4.6	2.5	9.3	1.3
性別																
男性	121	56.2	43.8	32.2	22.3	28.1	23.1	23.1	17.4	6.6	5.0	7.4	6.6	4.1	4.1	1.7
女性	116	64.7	46.6	29.3	24.1	17.2	18.1	7.8	7.8	11.2	10.3	2.6	2.6	0.9	14.7	0.9
年代別																
20代	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	56.0	68.0	32.0	8.0	8.0	20.0	0.0	4.0	8.0	12.0	4.0	4.0	0.0	12.0	4.0
40代	37	56.8	51.4	21.6	13.5	21.6	10.8	16.2	16.2	2.7	2.7	8.1	10.8	5.4	5.4	5.4
50代	53	58.5	45.3	34.0	22.6	18.9	18.9	17.0	15.1	17.0	11.3	3.8	5.7	3.8	7.5	0.0
60代	61	65.6	37.7	29.5	31.1	26.2	23.0	14.8	4.9	9.8	6.6	4.9	3.3	1.6	11.5	0.0
70歳以上	60	60.0	40.0	35.0	28.3	30.0	26.7	20.0	18.3	5.0	6.7	5.0	1.7	1.7	10.0	0.0
年収別																
100万円未満	55	63.6	45.5	23.6	27.3	14.5	18.2	10.9	7.3	9.1	14.5	3.6	3.6	0.0	14.5	0.0
~300万円未満	63	59.8	38.1	38.1	27.0	20.6	23.8	6.3	12.7	12.7	6.3	6.3	3.2	1.6	9.5	1.6
~500万円未満	52	63.5	42.3	34.6	30.8	38.5	13.5	21.2	13.5	7.7	3.8	7.7	3.8	1.9	11.5	0.0
~800万円未満	35	40.0	48.6	31.4	11.4	22.9	34.3	25.7	20.0	5.7	5.7	2.9	11.4	8.6	2.9	2.9
~1000万円未満	11	54.5	63.6	9.1	18.2	18.2	18.2	18.2	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
1000万円以上	5	40.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別																
首都圏	144	60.4	45.1	34.0	20.8	22.9	18.1	16.7	12.5	9.7	8.3	6.3	5.6	2.1	7.6	1.4
阪神圏	93	60.2	45.2	25.8	26.9	22.6	24.7	14.0	12.9	7.5	6.5	3.2	3.2	3.2	11.8	1.1

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	購入後の運用に関する情報が少ない	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	近くに証券会社銀行等の店舗がない	クローズド期間がある	その他	よくわからない	無回答
全体	237	60.3	45.1	30.8	23.2	22.8	20.7	15.6	12.7	8.9	7.6	5.1	4.6	2.5	9.3	1.3
保有状況別																
現在保有層	145	60.0	52.4	34.5	21.4	23.4	24.1	15.2	11.0	6.2	8.3	4.8	5.5	4.1	6.2	2.1
保有経験層	92	60.9	33.7	25.0	26.1	21.7	15.2	16.3	15.2	13.0	6.5	5.4	3.3	0.0	14.1	0.0
保有種類別																
株式投資信託保有層	93	60.2	52.7	41.9	22.6	23.7	24.7	14.0	10.8	2.2	5.4	5.4	7.5	5.4	4.3	0.0
公社債投資信託のみ保有層	13	53.8	53.8	46.2	38.5	46.2	30.8	23.1	15.4	30.8	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0
その他投資信託保有層	36	66.7	55.6	13.9	13.9	16.7	22.2	16.7	11.1	8.3	13.9	2.8	0.0	2.8	8.3	0.0

問 21②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1つだけ

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	利回りがものたりない	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	なんとなくなじめない	購入後の運用に関する情報が少ない	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
平成26年	237	32.5	19.0	11.4	5.5	4.6	3.0	3.0	1.3	1.3	1.3	0.8	0.4	2.5	11.0	2.5
平成25年	250	38.0	14.4	5.2	8.4	3.6	5.6	2.8	1.6	1.2	2.4	6.8	0.8	0.8	6.8	1.6
平成23年	241	38.2	13.7	6.2	3.7	5.4	3.7	4.1	1.2	0.0	2.9	2.9	1.7	2.5	11.2	2.5
平成22年	255	36.9	11.4	9.0	5.9	7.1	3.9	3.5	2.0	0.4	3.5	1.6	0.4	2.0	9.8	2.7
平成20年	231	36.8	16.9	8.7	5.6	5.6	3.0	4.3	2.2	0.4	0.9	3.9	0.9	2.2	6.9	1.7

問 21②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	利回りがものたりない	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	なんとなくなじめない	購入後の運用に関する情報が少ない	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	237	32.5	19.0	11.4	5.5	4.6	3.0	3.0	1.3	1.3	1.3	0.8	0.4	2.5	11.0	2.5
性別																
男性	121	28.1	22.3	12.4	7.4	6.6	5.8	3.3	0.8	1.7	0.8	0.0	0.0	4.1	5.0	1.7
女性	116	37.1	15.5	10.3	3.4	2.6	0.0	2.6	1.7	0.9	1.7	1.7	0.9	0.9	17.2	3.4
年代別																
20代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	25	32.0	32.0	8.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0
40代	37	29.7	21.6	10.8	2.7	5.4	2.7	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	2.7	5.4	5.4	8.1
50代	53	26.4	22.6	15.1	5.7	5.7	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	3.8	11.3	0.0
60代	61	42.6	6.6	11.5	4.9	1.6	4.9	4.9	1.6	1.6	3.3	0.0	0.0	1.6	13.1	1.6
70歳以上	60	30.0	21.7	10.0	8.3	6.7	1.7	5.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	1.7	11.7	1.7
年収別																
100万円未満	55	40.0	16.4	9.1	5.5	0.0	1.8	3.6	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	16.4	0.0
～300万円未満	63	36.5	14.3	7.9	6.3	6.3	0.0	4.8	0.0	1.6	0.0	1.6	1.6	1.6	14.3	3.2
～500万円未満	52	30.8	17.3	15.4	7.7	5.8	3.8	1.9	1.9	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	11.5	0.0
～800万円未満	35	20.0	22.9	17.1	5.7	5.7	5.7	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	8.6	2.9	2.9
～1000万円未満	11	18.2	36.4	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
1000万円以上	5	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別																
首都圏	144	34.0	17.4	13.2	5.6	4.9	2.8	2.1	1.4	2.1	1.4	0.7	0.7	2.1	9.7	2.1
阪神圏	93	30.1	21.5	8.6	5.4	4.3	3.2	4.3	1.1	0.0	1.1	1.1	0.0	3.2	12.9	3.2

問 21②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	元本保証がない	手数料が高い	運用実績がわかりにくい	公社債に比べて安心できない	利回りがものたりない	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	なんとなくなじめない	購入後の運用に関する情報が少ない	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	237	32.5	19.0	11.4	5.5	4.6	3.0	3.0	1.3	1.3	1.3	0.8	0.4	2.5	11.0	2.5
保有状況別																
現在保有層	145	29.7	23.4	15.2	6.2	3.4	1.4	2.1	1.4	0.7	1.4	0.0	0.7	4.1	6.9	3.4
保有経験層	92	37.0	12.0	5.4	4.3	6.5	5.4	4.3	1.1	2.2	1.1	2.2	0.0	0.0	17.4	1.1
保有種類別																
株式投資信託保有層	93	31.2	23.7	20.4	5.4	2.2	2.2	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	1.1	5.4	5.4	1.1
公社債投資信託のみ保有層	13	30.8	15.4	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0
その他投資信託保有層	36	27.8	27.8	8.3	5.6	8.3	0.0	5.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	8.3	2.8

②投資信託購入合計額別の不満を感じる点(現在保有層)

投資信託現在保有層に限定して、投資信託の購入合計額別(15 ページ参照)に、不満点(重複回答・単数回答)をみてみた。

N数(サンプル数)が少ない層があるため、参考データではあるが、重複回答では、「100万円未満」と「～300万円未満」の比較的 low 投資層では「元本保証がない」と「手数料が高い」の差が小さいが、「500万円以上」の高額投資層では「元本保証がない」の方が 20 ポイント近く高い。

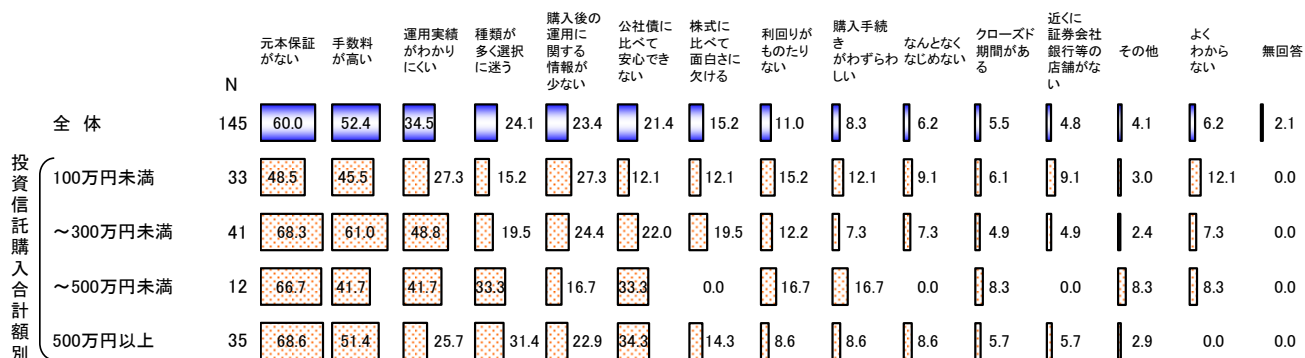
「運用実績がわかりにくい」は「～300万円未満」の中間層で不満が高め。また、投資額が高いほど「種類が多く選択に迷う」「公社債に比べて安心できない」といった不満を持つ率が高い傾向となっている。

単数回答では、「～300万円未満」の層では「手数料が高い」が特に高く、この層の最多不満になっている。「500万円以上」の高額投資層では「公社債に比べて安心できない」不満もやや高い。

問 21①【投資信託の不満を感じる点(重複回答)】／投資信託購入合計額別

—現在保有層ベース

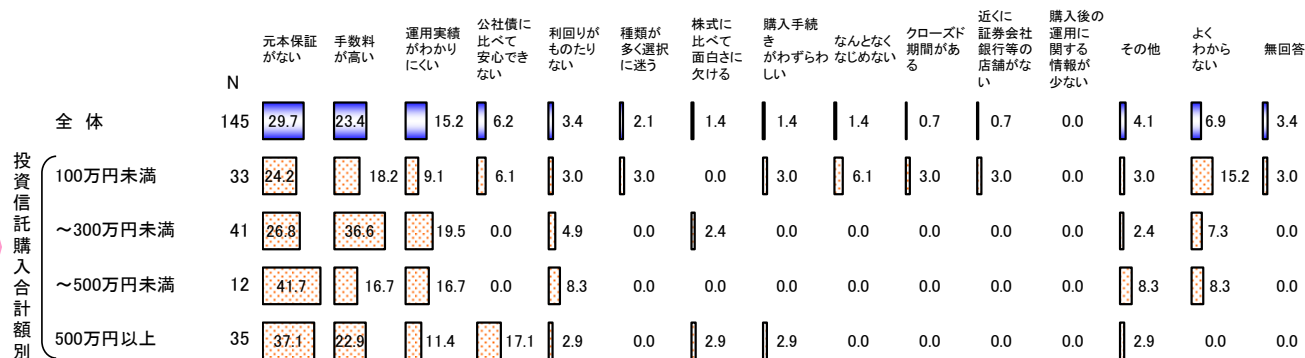
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 21②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)】／投資信託購入合計額別

—現在保有層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



1つだけ

## 5. 投資信託保有未経験者の状況

### (1) 投資信託の購入意向経験

投資信託を認知しているにも関わらず、これまでに投資信託を購入したことがない人に対し、投資信託を購入したいと思ったことがあるかを尋ねたところ、「ある」＝購入意向経験率は9.4%にとどまった。

時系列でも、大きな変化はみられない。

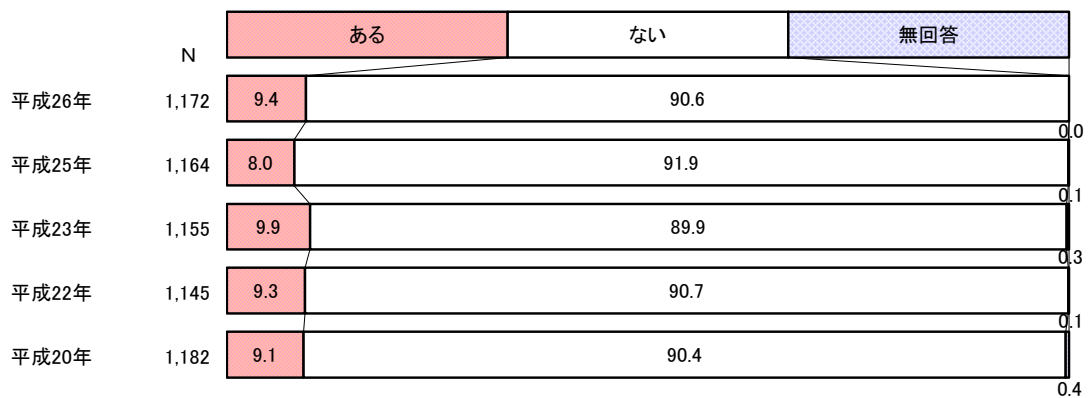
対象者属性別にみると、性別では、購入意向経験率に差はみられない。

年代別では、購入意向経験率は40～50代で比較的高いが、それ以上の年代になると次第に下がり、70歳以上で最も低い。

年収別では、購入意向経験率は年収が上がるにつれ若干高まる傾向がみられる。（「1000万円以上」は参考値）。

地域別では、大きな差はみられない。

問 22 【投資信託の購入意向(単数回答)／時系列－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

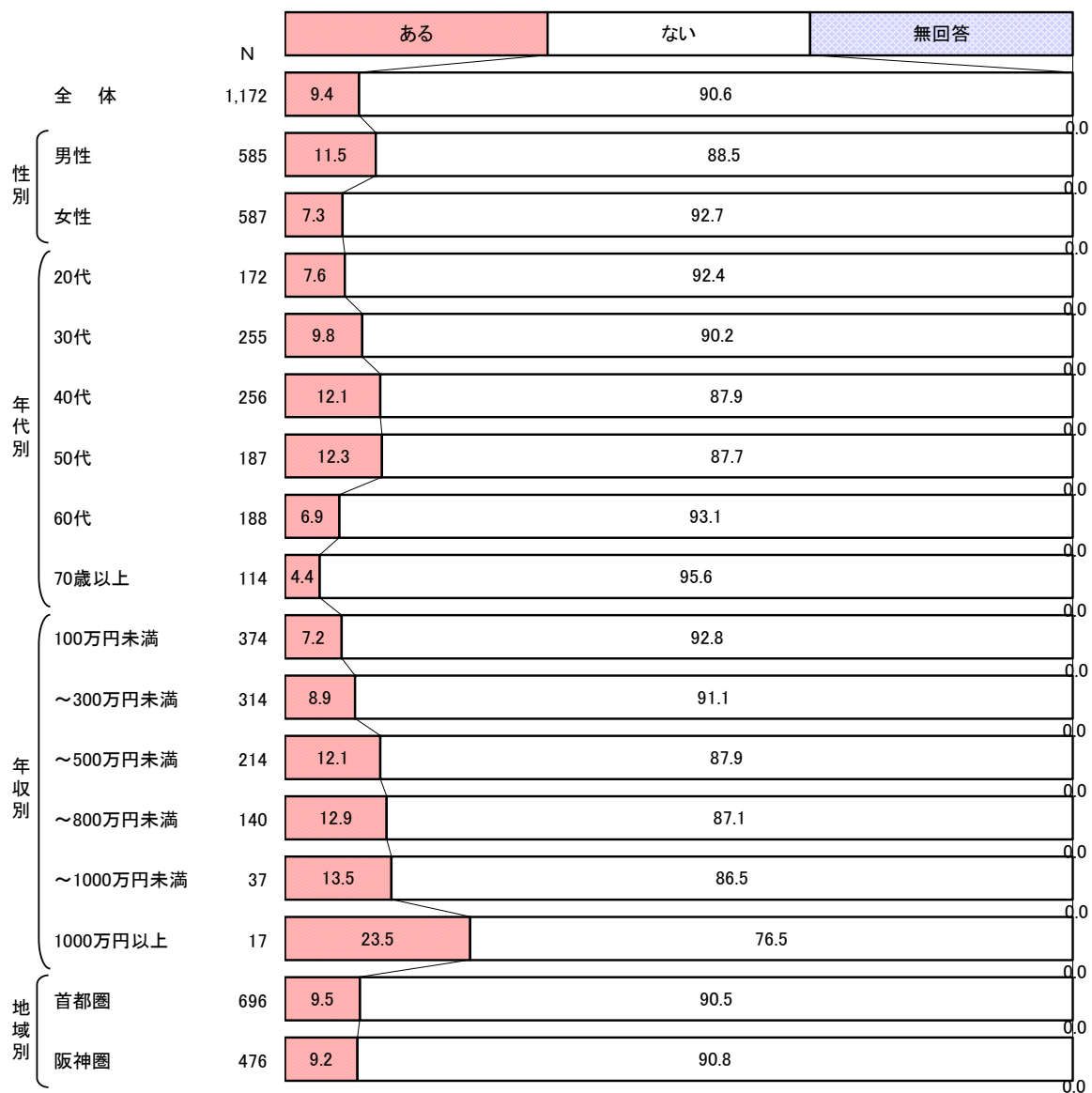




問 22 【投資信託の購入意向(単数回答)／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



## (2) 投資信託の非購入理由

投資信託保有未経験者が投資信託を購入しなかった理由は、「投資信託がよくわからないので不安」が63.8%で特に高い。次いで「元本保証がない」(34.6%)が続くが、これら以外の理由は20%に満たず、これら2つが主な非購入理由となっている。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では、女性は「投資信託がよくわからないので不安」が男性より高い。男性は「元本保証がない」「少額では購入しづらい」が女性より高い。

年代別では、「投資信託がよくわからないので不安」は若年層ほど高い傾向がみられる。「元本保証がない」と「株式と同様に値上がり・値下がりが激しい」は若年層では低く、50代を中心とした層で高くなっている。「どこで売っているのかわからない」は20代で高い。

年収別では、「～1000万円未満」の比較的高い年収層では他の層に比べ「元本保証がない」が高く、「投資信託がよくわからないので不安」を上回っている。この層では「株式と同様に値上がり・値下がりが激しい」も高い。

地域別では、首都圏は「投資信託がよくわからないので不安」「少額では購入しづらい」「どこで売っているのかわからない」が阪神圏に比べ高い。

投資信託保有状況・購入意向別にみると、購入意向層は非購入意向層に比べ「投資信託がよくわからないので不安」が低く、「元本保証がない」がやや高いため、両項目の差が小さい。また、「少額では購入しづらい」「商品の種類が多く自分で選択できない」「購入するのに手間がかかる」も高く、購入意向層は多様な理由をあげている。

### 問23【投資信託の非購入理由(重複回答)】時系列

#### －投資信託認知者・保有未経験層ベース

	N	投資信託がよくわからないので不安	元本保証がない	少額では購入しづらい	株式と同様に値上がり・値下がりが激しい	どこで売っているのかわからない	商品の種類が多く自分で選択できない	手数料等費用が高いから	購入するのに手間がかかる	販売員の説明・勧誘に満足できない	近くに投資信託を取り扱う機関がない	なんとなく機会がなかった	その他	無回答
平成26年	1,172	63.8	34.6	18.3	14.9	9.9	7.8	5.9	4.7	0.9	0.8	6.3	11.2	0.4
平成25年	1,164	65.5	35.0	17.5	14.9	10.1	6.9	4.8	4.2	1.2	1.3	5.6	11.8	0.1
平成23年	1,155	63.7	32.6	17.2	16.1	11.1	7.2	6.3	4.2	0.9	0.8	5.6	11.6	0.8
平成22年	1,145	65.1	32.8	16.6	15.5	11.1	7.2	5.6	3.1	1.4	1.0	5.8	12.7	0.5
平成20年	1,182	67.1	35.4	19.0	15.9	9.9	9.3	5.4	5.2	1.9	0.6	4.0	11.3	1.4

問 23 【投資信託の非購入理由(重複回答)】／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	投資信託がよくわからないので不安	元本保証がない	少額では購入しづらい	株式と同様に値上がり・値下がりが激しい	どこで売っているのかわからない	商品の種類が多く自分で選択できない	手数料等費用が高いから	購入するのに手間がかかる	販売員の説明・勧誘に満足できない	近くに投資信託を取り扱う機関がない	なんとなく機会がなかった	その他	無回答
全体	1,172	63.8	34.6	18.3	14.9	9.9	7.8	5.9	4.7	0.9	0.8	6.3	11.2	0.4
性別														
男性	585	56.6	36.9	21.2	14.0	9.9	6.8	7.5	5.8	1.2	1.2	7.0	11.6	0.9
女性	587	71.0	32.4	15.3	15.8	9.9	8.7	4.3	3.6	0.7	0.3	5.6	10.7	0.0
年代別														
20代	172	76.2	19.2	16.9	5.8	19.2	5.2	3.5	7.6	0.6	0.6	8.1	6.4	0.0
30代	255	71.8	27.1	15.7	10.6	10.2	6.3	4.3	5.9	0.8	0.4	5.9	12.5	0.4
40代	256	61.7	37.1	22.7	16.8	11.3	7.0	10.2	5.1	0.0	0.8	5.5	7.4	0.8
50代	187	63.6	49.7	17.1	20.9	5.3	10.2	7.0	2.7	1.6	1.6	2.7	10.7	0.5
60代	188	52.7	38.3	20.7	21.3	5.3	8.5	5.3	3.2	1.6	0.5	8.0	17.0	0.0
70歳以上	114	50.9	38.6	14.0	14.0	7.0	11.4	2.6	2.6	1.8	0.9	9.6	14.9	0.9
年収別														
100万円未満	374	70.9	31.8	16.3	15.8	10.4	7.2	5.6	5.1	0.5	0.3	5.1	11.2	0.3
～300万円未満	314	65.6	30.3	15.3	13.4	11.8	9.9	3.2	4.5	0.6	1.6	7.0	12.7	0.3
～500万円未満	214	55.6	36.0	26.2	14.5	8.4	5.6	7.0	5.1	2.8	0.9	8.9	9.8	0.5
～800万円未満	140	64.3	38.6	24.3	15.0	10.7	5.7	6.4	6.4	0.7	0.0	7.1	3.6	0.7
～1000万円未満	37	45.9	59.5	18.9	29.7	2.7	10.8	13.5	0.0	0.0	2.7	5.4	13.5	0.0
1000万円以上	17	47.1	47.1	23.5	29.4	0.0	17.6	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6	0.0
地域別														
首都圏	696	65.9	32.9	20.7	14.7	11.9	7.6	6.5	4.9	0.9	0.7	5.0	10.3	0.4
阪神圏	476	60.7	37.2	14.7	15.3	6.9	8.0	5.0	4.4	1.1	0.8	8.2	12.4	0.4

問 23 【投資信託の非購入理由(重複回答)】／保有状況別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース

	N	投資信託がよくわからないので不安	元本保証がない	少額では購入しづらい	株式と同様に値上がり・値下がりが激しい	どこで売っているのかわからない	商品の種類が多く自分で選択できない	手数料等費用が高いから	購入するのに手間がかかる	販売員の説明・勧誘に満足できない	近くに投資信託を取り扱う機関がない	なんとなく機会がなかった	その他	無回答
全体	1,172	63.8	34.6	18.3	14.9	9.9	7.8	5.9	4.7	0.9	0.8	6.3	11.2	0.4
保有状況別														
保有未経験・購入意向層	110	48.2	40.9	34.5	19.1	8.2	24.5	9.1	11.8	1.8	1.8	6.4	2.7	0.9
保有未経験・非購入意向層	1,062	65.4	34.0	16.6	14.5	10.1	6.0	5.6	4.0	0.8	0.7	6.3	12.1	0.4

### (3) 投資信託購入検討のきっかけ

投資信託の購入を検討するきっかけとしては、「金融や投資を勉強して理解できたら」(34.9%)が最も高く、次いで「身近な人に勧められたら」(23.5%)と「手取り収入が増えたら」(23.0%)が同程度で続く。

時系列でみると、前回と大きな変化がみられる項目はない。

対象者属性別でみると、性別では、男性は「手取り収入が増えたら」と「貯蓄が一定額に達したら」が高いが、女性は「身近な人に勧められたら」が高い。

年代別では、「金融や投資を勉強して理解できたら」と「身近な人に勧められたら」は若年層ほど高い傾向がみられる。「退職金・相続等の臨時収入があったら」は50代でやや高い。60代以上は全般的に回答率が低く、投資信託の購入には積極的でない様子が見える。

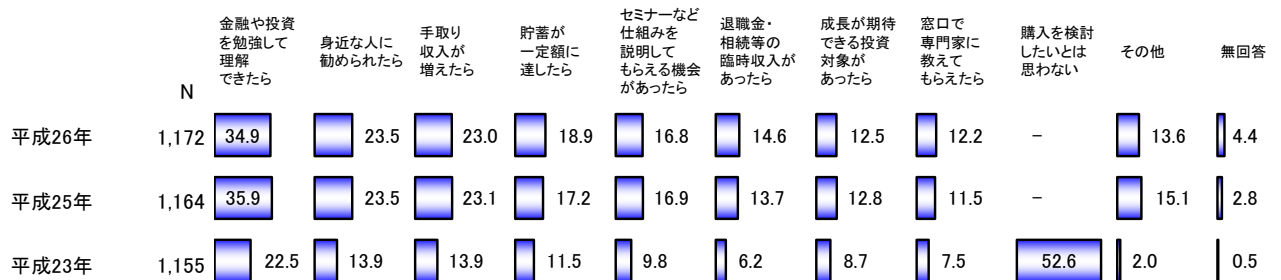
年収別では、「金融や投資を勉強して理解できたら」は“500万円未満”の層に比べそれ以上の年収層の方が高い。一方、「身近な人に勧められたら」は“500万円未満”の層の方が高く、それ以上の年収では、年収が高いほど低くなる傾向がみられる。「～800万円未満」の層は「セミナーなど仕組みを説明してもらえる機会があったら」が高く、「～1000万円未満」では「成長が期待できる投資対象があったら」が高い。

地域別では、首都圏は「身近な人に勧められたら」が阪神圏に比べ高い。

投資信託保有状況・購入意向別にみると、購入意向層は多くの項目で非購入意向層より高く、多様な点がきっかけとなると考えられる。ただし、「手取り収入が増えたら」と「退職金・相続等の臨時収入があれば」では非購入意向層との差が小さい。

#### 問 24 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)】

／時系列－投資信託認知者・保有未経験層ベース

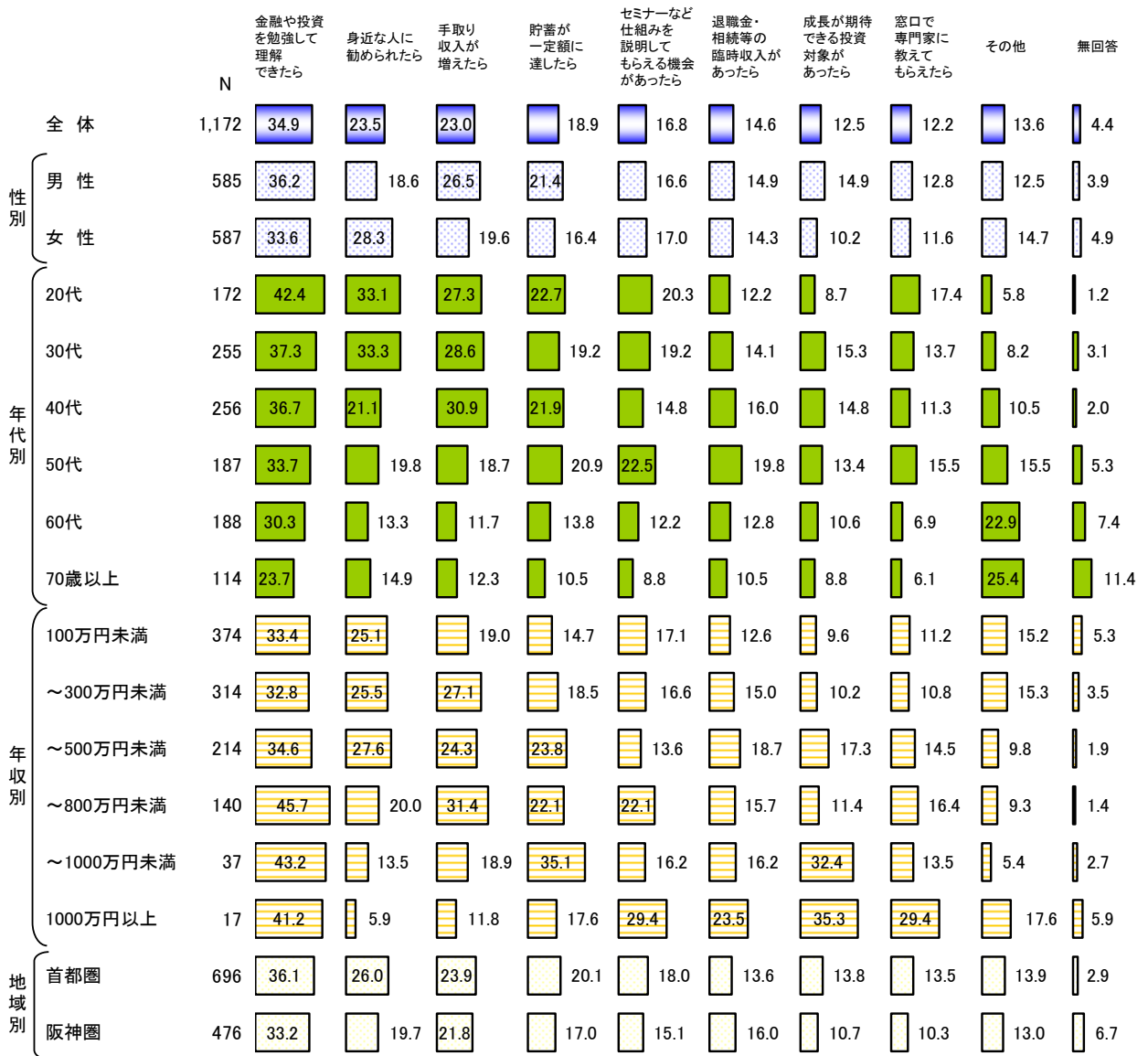


※ 平成25年調査より「購入を検討したいとは思わない」を削除。

問 24 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)】

／対象者属性別－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 24 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)】

／保有状況別－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

